

第8期（平成19年3月期）

決算説明資料



カブドットコム証券
東証1部 [8703]

平成19年5月2日

カブドットコム証券株式会社



・ 決算概況

- (P 3) 平成19年3月期 決算ハイライト
- (P 4) 決算業績(平成19年3月期)
- (P 5) 販管費(平成19年3月期)
- (P 6) 決算業績(直近四半期推移)
- (P 7) 販管費(直近四半期推移)
- (P 8) 主要経営指標(平成19年3月期)

・ 決算実績から見た当社ポジショニング

- (P10) 株式個人委託売買代金シェア(平成19年3月期)
- (P11) 口座数(半期推移)
- (P12) 預り資産(半期推移)
- (P13) 預り資産(四半期推移/他社比較)
- (P14) 投資信託預り資産、及び投信積立金額(月次推移)
- (P15) 営業収益経常利益率(直近四半期推移)
- (P16) コストカバー率(直近四半期推移)
- (P17) 金融収支と信用建玉残高(半期推移)
- (P18) 先物・オプション市場(個人)(四半期推移)
- (P19) 先物取引口座数と先物委託手数料(四半期推移)
- (P20) 三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化
- (P21) シニア層のシェア推移(四半期推移)
- (P22) IPO/PO取扱い件数(四半期推移)
- (P23) 三菱UFJフィナンシャル・グループの連結子会社化により新たなステージへ

・ 営業数値概況

- (P25) 1日当たり株式約定件数・約定金額(四半期推移)
- (P26) 手数料率と株式1約定当たり売買代金
- (P27) 信用評価損益率(買建のみ)
- (P28) 株券差引入庫額(1)
- (P29) 株券差引入庫額(2)

・ 当期の取り組み等

- (P31) 当期の主な取り組み(平成18年4月～平成19年3月)
- (P32) システム関連の開示
- (P33) お客様サポートセンター関連の開示
- (P34) 売買審査状況
- (P35) kabu.comPTS(夜間取引)関連の開示
- (P36) コーポレート・ガバナンス
- (P37) 知的財産関連の活動状況

・ 当社の経営目標

- (P39) 当社の経営理念・経営方針
- (P40) 当社の経営目標
- (P41) 積極的な開示
- (P42) IR活動状況

・決算概況

平成19年3月期 決算ハイライト

営業収益は、個人委託市場が前期比 13%となる中、前期並の水準に。

■ 営業収益は209億円(前期比 2%)、純営業収益は197億円(前期比 0%)

経常利益は、個人委託市場の減少幅と同じ前期比 13%に。

他社に先駆けてのBCP構築やPTS事業開始(*1)に伴う先行投資が発生。

純利益は、前期比 38%(Meネット証券との合併特殊要因を除くと 13%)の60億円となり、期末配当予想額は1株あたり2,000円(配当性向31.9%)となった。(*2)

金融収支(*3)は、47億円(前期比 + 56%)と大幅に増加。収益維持に寄与。

業容は、順調に拡大。

■ 株式個人委託売買シェア(三市場 + JASDAQ)は前期比0.7ポイント増加。

■ 預り資産は、オンライン専業証券で唯一、前期末比で増加(+1%)。

■ 口座数も前期末比で順調に増加 (総合口座数+18%、信用口座数+25%)

*1: BCP: 事業継続計画(Business Continuity Plan)、PTS: 私設取引システム(Proprietary Trading System)

*2: 当社は会社法上の委員会設置会社となりますので、期末配当額の正式決定は、平成19年5月に開催予定の当社取締役会決議によります。

*3: 金融収支 = 金融収益 - 金融費用

決算業績(平成19年3月期)

純営業収益は個人委託市場が前期比 13%となる中、前期並みの水準に、
金融収支が大幅に改善(前期比+56%)したことで収益を維持。

信用取引貸付金の期中平均残高の拡大による収益増加に加え、コール資金等資金調達が多様化と格付取得による調達コスト削減により改善

一方、経常利益は個人委託市場の落ち込みに起因し減益に(前年比 13%)。

(単位:百万円、切捨)

	平成18年3月期 決算期(4-3月)	平成19年3月期 決算期(4-3月)	前年同期比 増減率
営業収益	21,311	20,946	-2%
受入手数料	16,887	15,083	-11%
金融収益	4,430	5,857	+32%
金融費用	1,424	1,154	-19%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	3,005	4,702	+56%
純営業収益	19,886	19,791	-0%
販管費	7,096	8,740	+23%
営業利益	12,790	11,051	-14%
経常利益	12,672	11,017	-13%
税引前純利益(四半期)	11,645	10,302	-12%
当期純利益	9,746	6,088	-38%
ROE(自己資本純利益率)	35.1%	17.2%	-
(参考)三市場株式個人委託売買代金(/日)	12,583 億円	10,975 億円	-13%
(参考)当社約定金額(/日)	710 億円	703 億円	-1%

三市場株式個人委託売買代金(/日)は、東京証券取引所公表数値より当社算出

販管費(平成19年3月期)

他社に先駆けてのBCP構築やPTS事業開始に伴う先行投資が発生。

PTS費用については、信用取引・同業他社接続の開始費用を含めた初期投資はほぼ完了。また、主な一時費用も第3四半期までに計上を完了。

(単位:百万円、切捨)

	平成18年3月期 決算期(4-3月)	平成19年3月期 決算期(4-3月)	前年同期比 増減率
販管費合計	7,096	8,740	+23%
取引関係費	3,569	4,328	+21%
広告宣伝費	387	429	+11%
その他	3,181	3,899	+23%
人件費	774	889	+15%
不動産関係費	1,131	1,783	+58%
事務費	891	800	-10%
減価償却費	295	490	+66%
租税公課	141	136	-4%
貸倒引当金	147	203	+38%
その他	144	107	-25%

BCPやPTSのシステム投資に伴う費用項目
PTS運営に伴う情報料に関する費用項目

決算業績(直近四半期推移)

個人委託市場が前四半期比+33%と増加する中、販管費は横ばいとなり、その結果、経常利益は個人委託市場の伸びを上回る+39%の増加となった。

(単位:百万円、切捨)

	平成18年3月期				平成19年3月期				前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)		
営業収益	3,543	4,662	5,823	7,281	5,887	4,975	4,608	5,475	+19%	-25%
受入手数料	2,806	3,599	4,710	5,771	4,378	3,595	3,217	3,891	+21%	-33%
金融収益	735	1,061	1,079	1,554	1,505	1,378	1,390	1,582	+14%	+2%
金融費用	258	451	261	452	293	278	270	311	+15%	-31%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	476	609	817	1,101	1,212	1,100	1,119	1,270	+13%	+15%
純営業収益	3,284	4,210	5,561	6,829	5,594	4,696	4,337	5,163	+19%	-24%
販管費	1,371	1,598	1,725	2,400	2,123	2,079	2,270	2,267	-0%	-6%
営業利益	1,913	2,612	3,836	4,428	3,471	2,617	2,067	2,895	+40%	-35%
経常利益	1,927	2,575	3,826	4,341	3,491	2,587	2,070	2,867	+38%	-34%
税引前純利益(四半期)	1,843	2,440	3,674	3,687	3,400	2,509	2,002	2,388	+19%	-35%
純利益(四半期)	1,084	1,470	2,160	5,030	2,019	1,476	1,176	1,416	+20%	-72%
(参考)三市場株式個人委託売買代金(/日) 単位:億円	6,368	10,372	17,096	16,533	11,931	9,313	9,777	13,003	+33%	-21%
(参考)当社約定金額(/日) 単位:億円	373	557	871	1,039	778	615	615	811	+32%	-22%
(参考)信用建玉末残高 単位:億円	1,108	1,271	1,898	2,194	1,922	1,756	1,715	1,928	+12%	-12%

三市場株式個人委託売買代金(/日)は、東京証券取引所公表数値より当社にて算出

販管費(直近四半期推移)

PTSの初期投資が前四半期にほぼ完了。

その結果、約定金額が前四半期比で+32%と増加する中、販管費は横ばいとなった。

広告宣伝費は、PTSキャンペーン後、費用対効果を再測定し抑制。

(単位:百万円、切捨)

	平成18年3月期				平成19年3月期				前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)		
販管費率(対営業収益)	39%	34%	30%	33%	36%	42%	49%	41%	-16%	+26%
販管費合計	1,371	1,598	1,725	2,400	2,123	2,079	2,270	2,267	-0%	-6%
取引関係費	717	763	967	1,120	1,053	1,087	1,086	1,100	+1%	-2%
広告宣伝費	118	80	110	77	93	140	121	73	-39%	-6%
その他	599	682	856	1,042	959	946	965	1,027	+6%	-2%
人件費	139	195	198	240	232	210	216	230	+7%	-4%
不動産関係費	239	273	256	362	356	437	522	467	-10%	+29%
事務費	153	234	148	355	231	184	189	194	+3%	-45%
減価償却費	65	71	75	83	81	106	148	154	+4%	+84%
租税公課	24	29	33	54	41	29	32	32	+0%	-40%
貸倒引当金	-	3	16	127	92	0	53	57	+8%	-55%
その他	30	27	30	55	33	23	20	29	+45%	-46%
(参考)受入手数料	2,806	3,599	4,710	5,771	4,378	3,595	3,217	3,891	+21%	-33%
(参考)当社約定金額(/日) 単位:億円	373	557	871	1,039	778	615	615	811	+32%	-22%

主要経営指標 (平成19年3月期)

市況の悪化によりROEは17%に。収益拡大と経費抑制で20%復活が目標。
 金融収支率は507%。オンライン専門証券大手5社中トップクラスの収支率となった。
 営業収益経常利益率、コストカバー率は悪化したものの、引き続きオンライン専門証券中トップクラスを維持。

下記主要経営指標については、今後も注視していく。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
ROE (自己資本利益率)	29%	35%	17%
金融収支率 (金融収益 ÷ 金融費用)	204%	311%	507%
営業収益経常利益率	50%	59%	53%
コストカバー率 (委託手数料/販管費)	191%	224%	156%
コストカバー率 (委託手数料/システム関連費)	569%	686%	445%

営業収益経常利益率 = 経常利益 ÷ 営業収益

システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

・ 決算実績から見た 当社ポジショニング

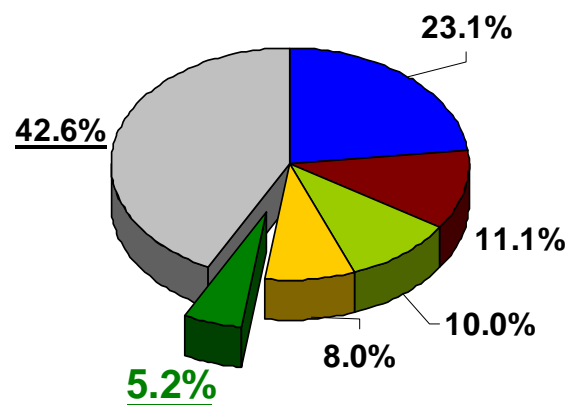
株式個人委託売買代金シェア(平成19年3月期)

- オンライン専門証券大手5社のシェアが拡大。(前期比で7.1ポイント増)
- 株式個人委託売買代金に占める当社シェアは、前期比で0.7ポイント増と拡大。

三市場+JASDAQ 株式個人委託売買代金シェア推移

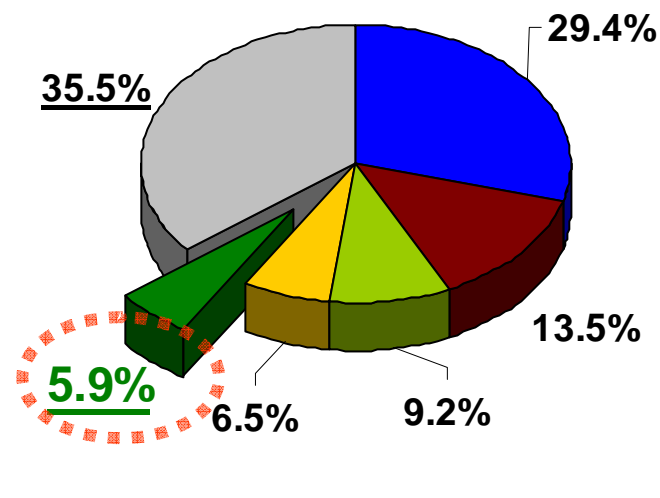
平成18年3月期

オンライン専門証券大手5社計 (57.4%)



平成19年3月期

オンライン専門証券大手5社計 (64.5%)

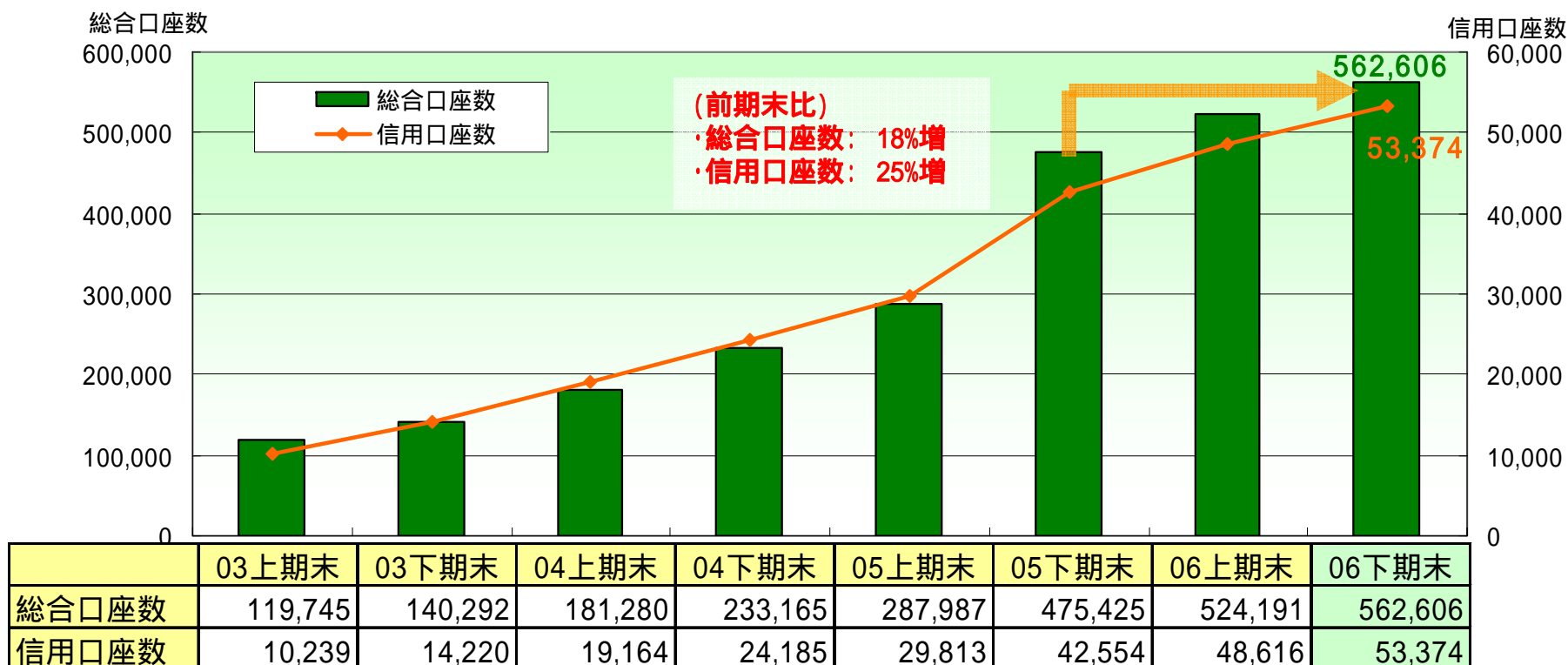


東証統計資料、ジャスダック証券取引所統計資料、各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページ等公表資料により当社にて集計

口座数(半期推移)

- 当期末の総合口座数は562,606口座に。(前期末比18%増)
- 当期末の信用口座数は 53,374口座に。(前期末比25%増)

半期では3,117件の総合口座抹消を実施。

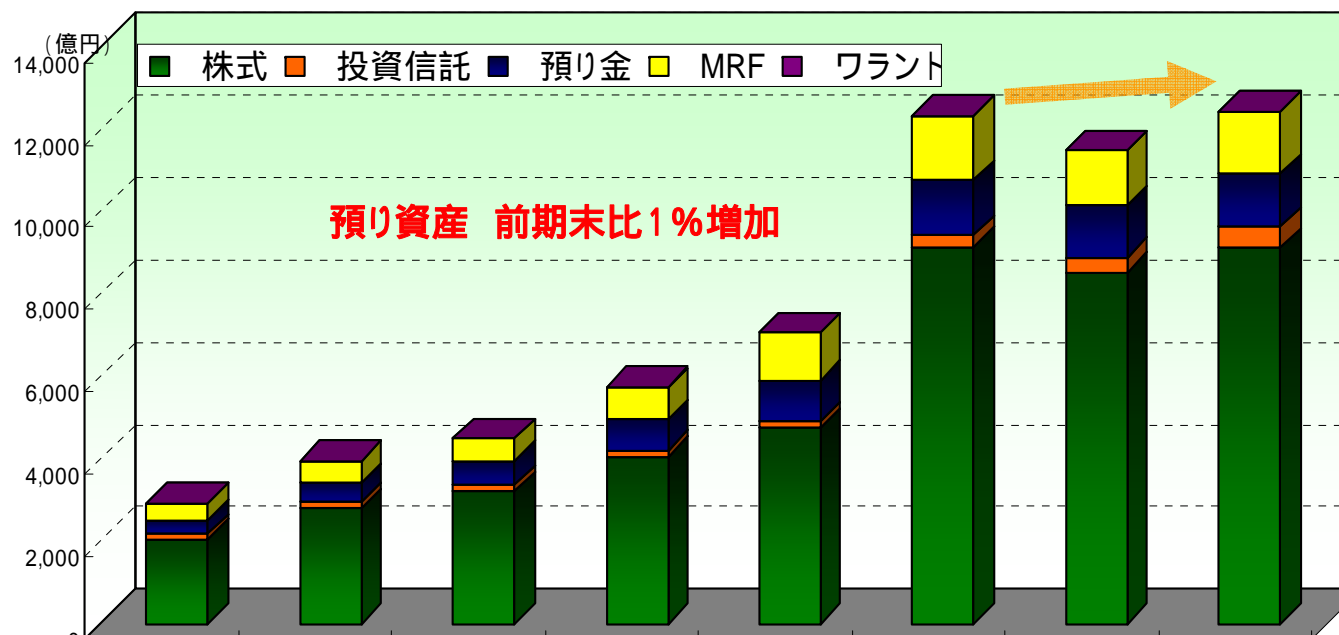


総合口座数・信用口座数とも、抹消済口座数を除いた純増数から算出

預り資産(半期推移)

預り資産は、前年度末比で1%増、前半期末比で8%増となった。

オンライン専業証券大手5社中最多水準のノーロード投信販売により、投資信託預り資産の06年下期末残高は、前年同期末の約2倍に。



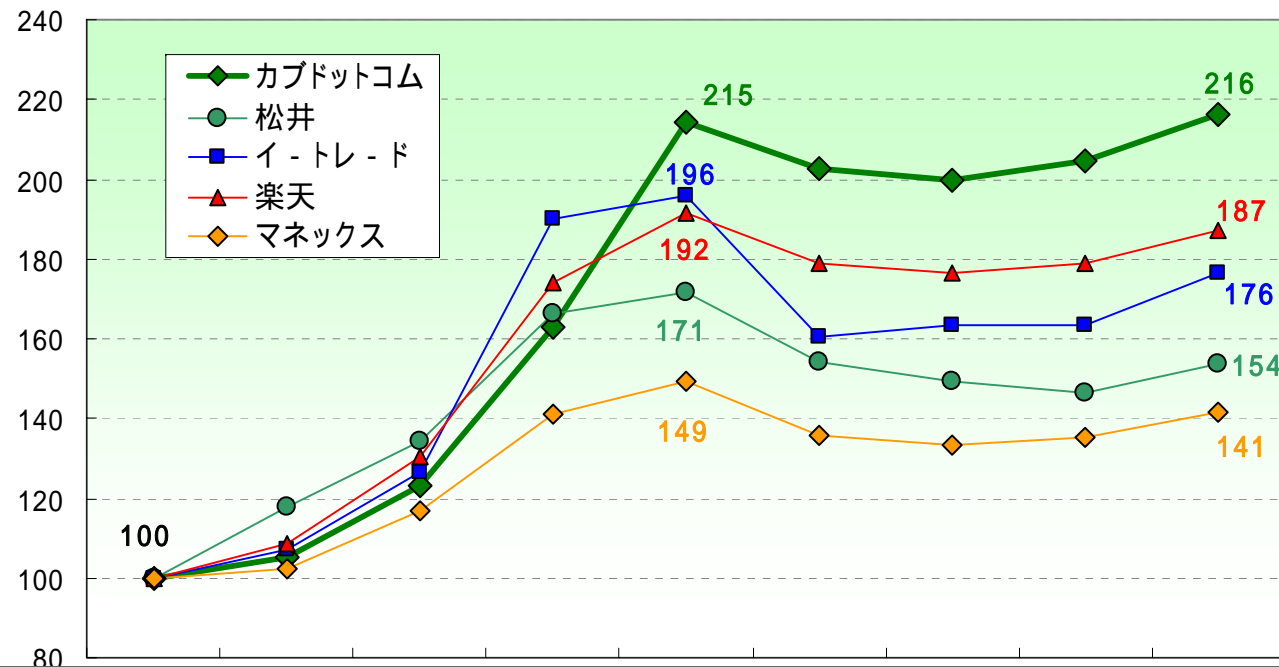
	03上期末	03下期末	04上期末	04下期末	05上期末	05下期末	06上期末	06下期末
株式	2,074	2,825	3,232	4,080	4,760	9,159	8,551	9,120
投資信託	124	141	136	140	168	277	348	526
預り金	336	475	595	754	996	1,353	1,251	1,294
MRF	405	535	543	781	1,150	1,551	1,358	1,508
ワラント	3	2	2	1	3	7	3	4
計	2,941	3,978	4,507	5,756	7,078	12,347	11,510	12,451

預り資産の内訳 (単位:億円、切捨)

時価ベースにて算出

預り資産(四半期推移/他社比較)

- 2005年3月末より2年間で、当社預り資産は2.16倍となり、オンライン専門証券5社中トップの伸び率となる。
- また、2006年3月末より1年間で、オンライン専門証券大手5社中、当社のみ預り資産が増加する結果となった。



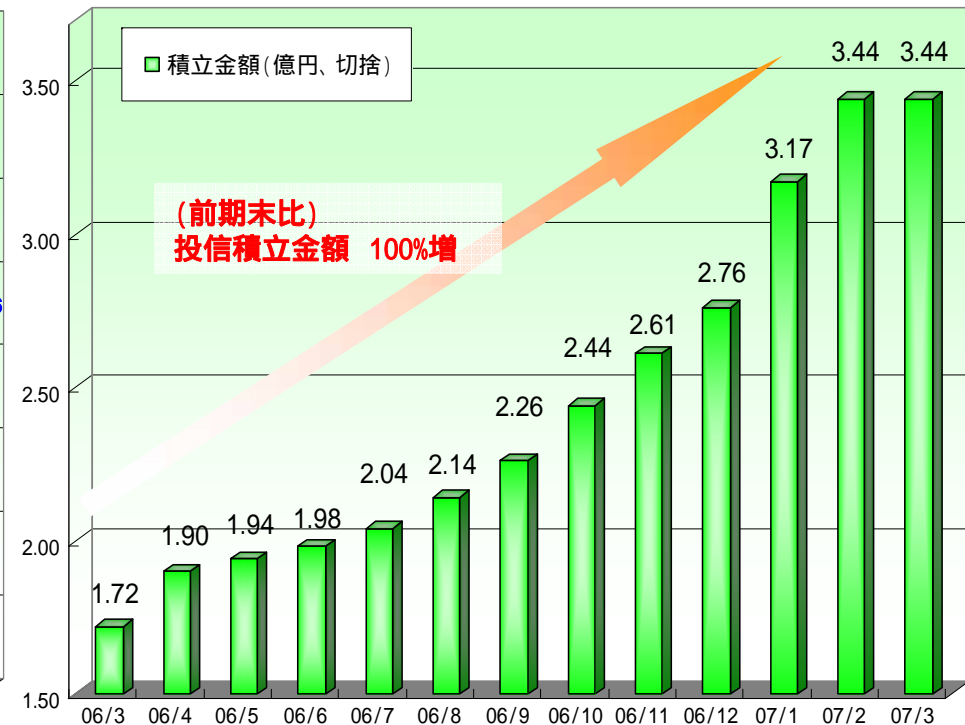
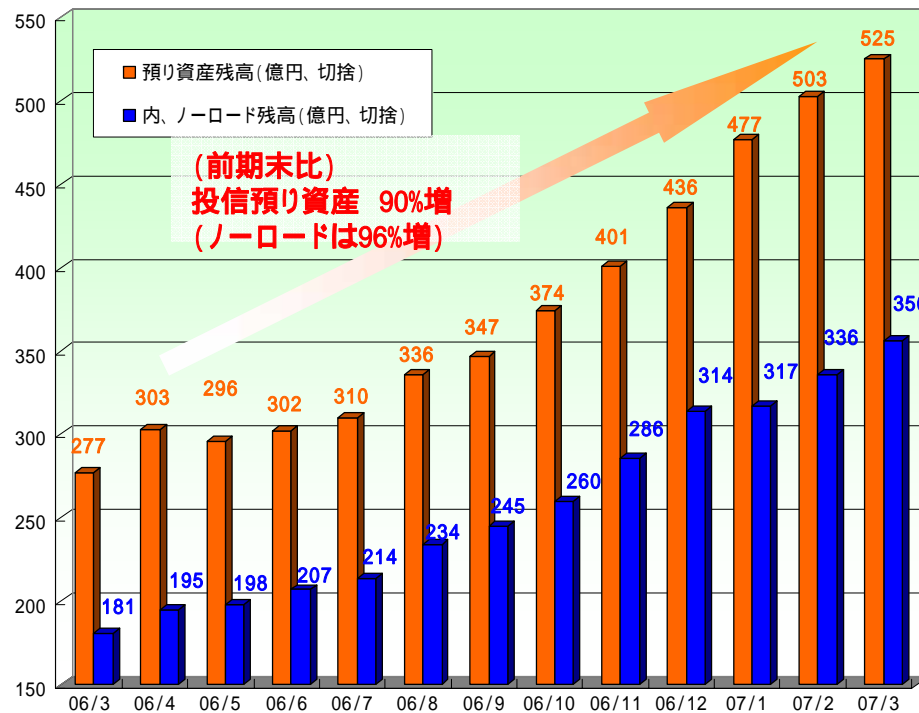
	05/3	05/6	05/9	05/12	06/3	06/6	06/9	06/12	07/3
カブドットコム	100	105	123	163	215	203	200	205	216
松井	100	118	134	166	171	154	149	147	154
イートレード	100	107	127	190	196	161	164	163	176
楽天	100	109	131	174	192	179	176	179	187
マネックス	100	103	117	141	149	136	133	135	141

各社ホームページ等公表資料より当社作成。時価ベースにて算出。2005年3月末時点をもとに100%として指数化し表示。

イートレード証券、松井証券の2007年3月末時点の預り資産額は2007年4月25日時点で開示されていないため、第3四半期までの結果で比較。

投資信託預り資産、及び投信積立金額(月次推移)

投資信託預り資産(当期末残)は、前期末比で90%増となり、月次でも順調に増加。オンライン専業証券最多水準(42ファンド72本)のノーロード投信の預り資産(当期末残)は、前期末比で96%増となり、投資信託預り資産全体の約73%を占めるまで成長。投信積立機能(銀行等からの自動引落とし)により、投信積立金額も順調に増加。当期末の積立金額は、前期末比で100%増加。



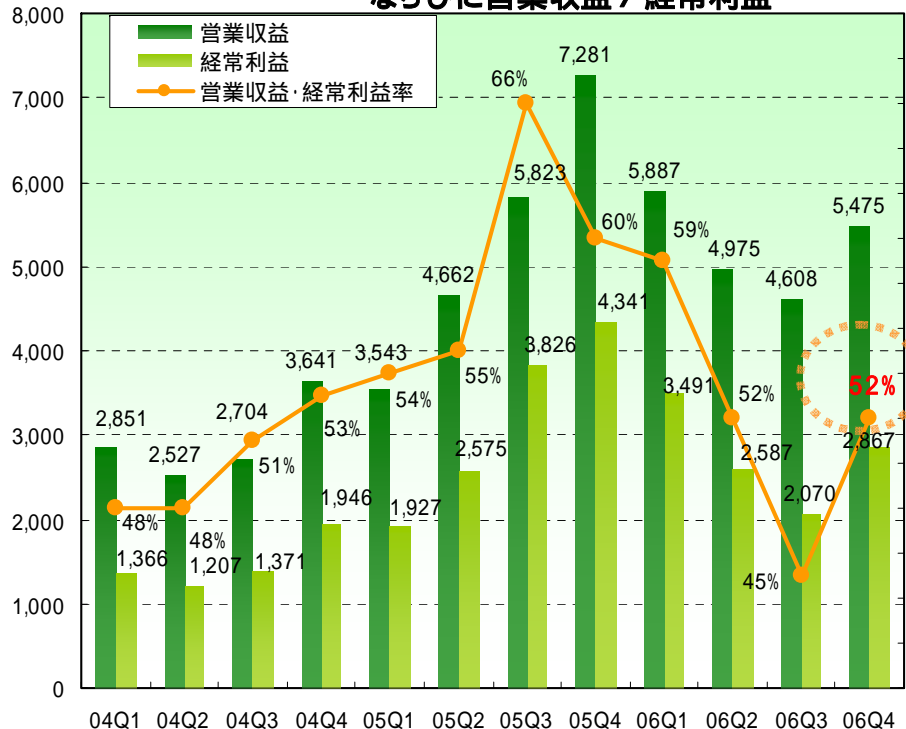
預り資産残高(月末)は、時価ベースにて算出

営業収益経常利益率 (直近四半期推移)

- 2005年第4四半期以降、個人委託市場の悪化や信用取引手数料の大幅値下げ、更にはkabu.comPTSのサービス開始時期が重なり指標が悪化していたが、当四半期はPTS初期費用計上が一巡したことに加え、個人委託市場の好転もあり、営業収益経常利益率は52%まで回復した。

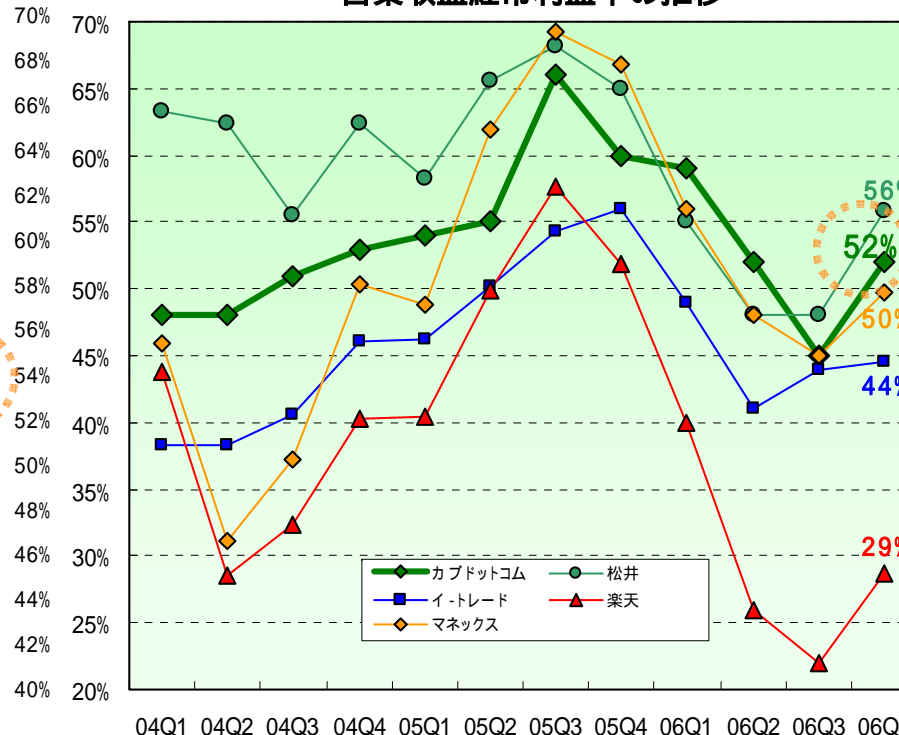
(百万円)

営業収益経常利益率
ならびに営業収益 / 経常利益



各社ホームページ等公表資料より当社作成
営業収益経常利益率は、四半期毎の営業収益、経常利益で算出

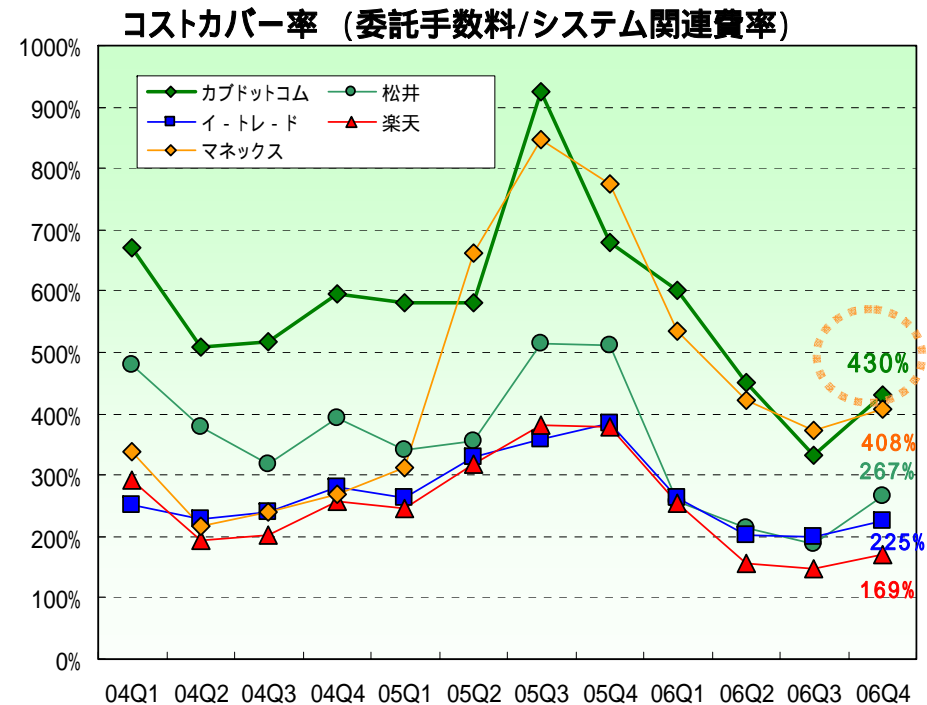
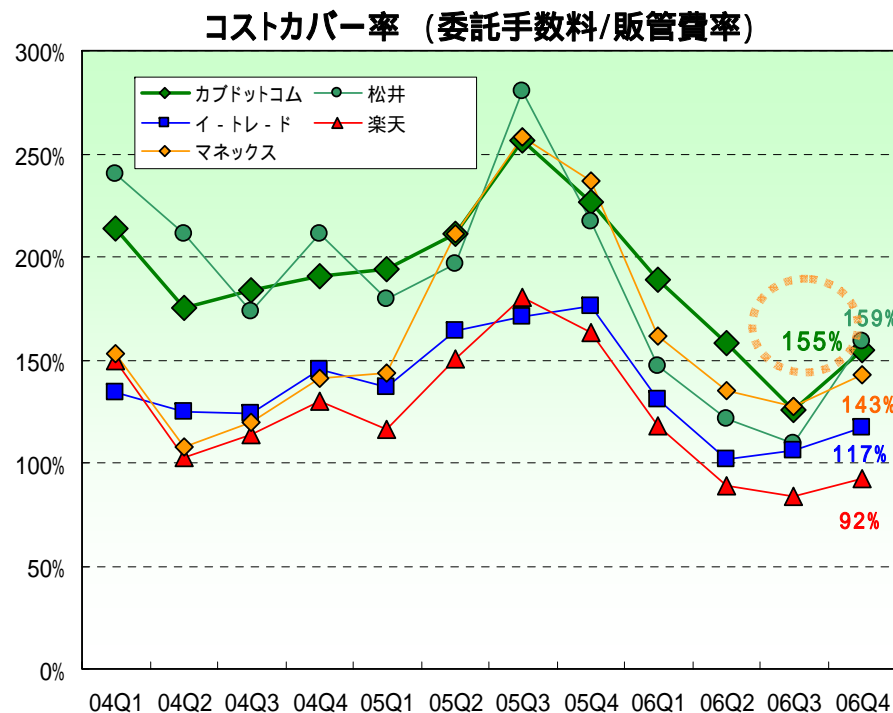
オンライン専門証券大手5社
営業収益経常利益率の推移



マネックスの合併前数値については、マネックス + 日興ビーンズの両社の単純合算値から算出
楽天は、楽天証券(個別)の決算発表数値より算出

コストカバー率 (直近四半期推移)

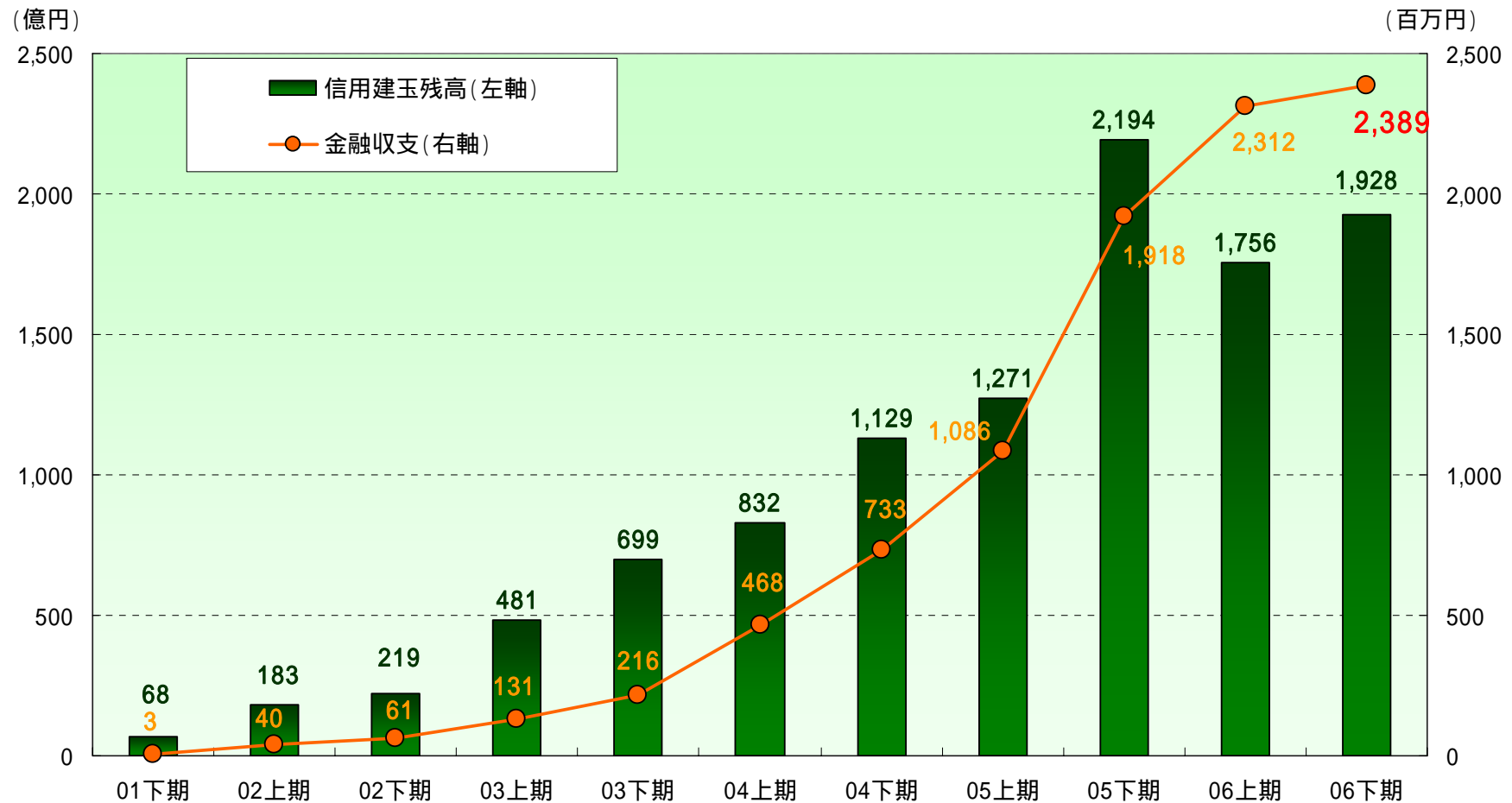
- 自前システムの増強を含む重要機能の内製化促進による販管費抑制が寄与し、当四半期のコストカバー率は前四半期より好転した。
- 他社に先駆けて実施したBCP構築・PTS事業の開始の運用費用は今後も発生するものの、引き続きオンライン専門証券大手5社でのトップクラスを維持。



各社開示資料より当社算出
 システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費
 マネックスの合併前数値については、マネックス + 日興ビーズの両社の単純合算値から算出
 楽天は、楽天証券(個別)の決算発表数値より算出

金融収支と信用建玉残高(半期推移)

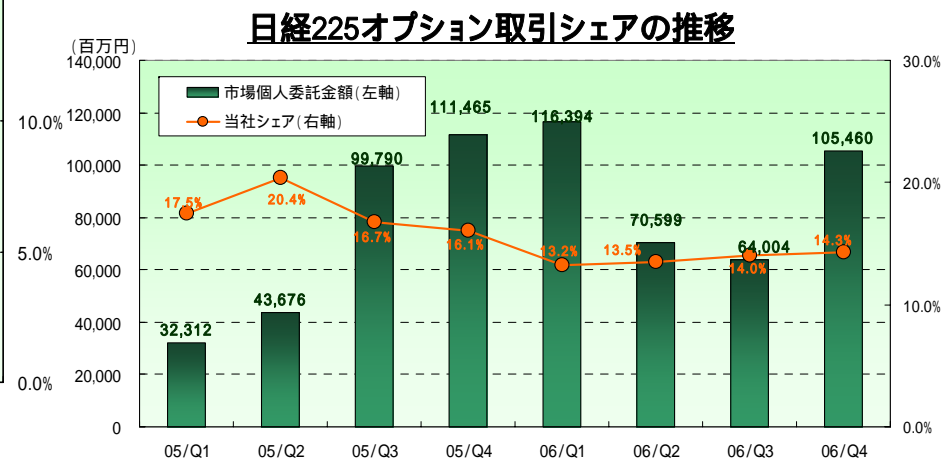
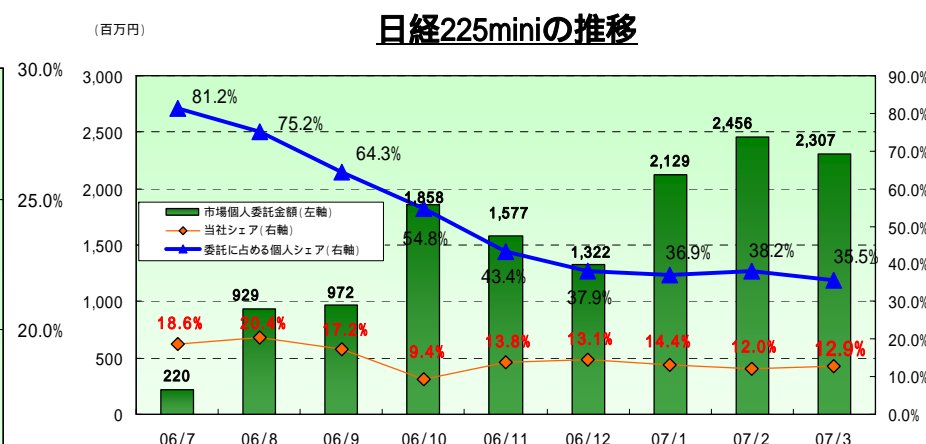
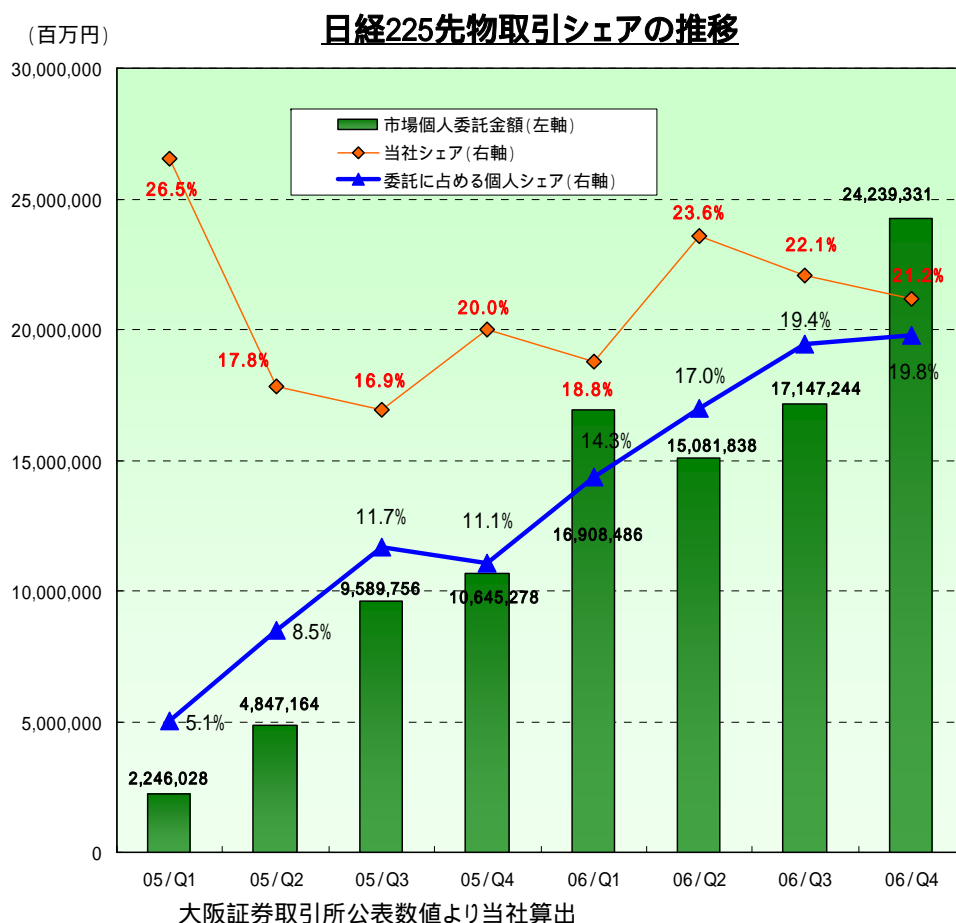
金利上昇局面の当年度下期においても、低利資金調達枠の拡大や自己資金の活用等により金融費用を削減、その結果、01年下期以来10半期連続で増加した。



信用建玉残高は各期末の受渡ベースの数値

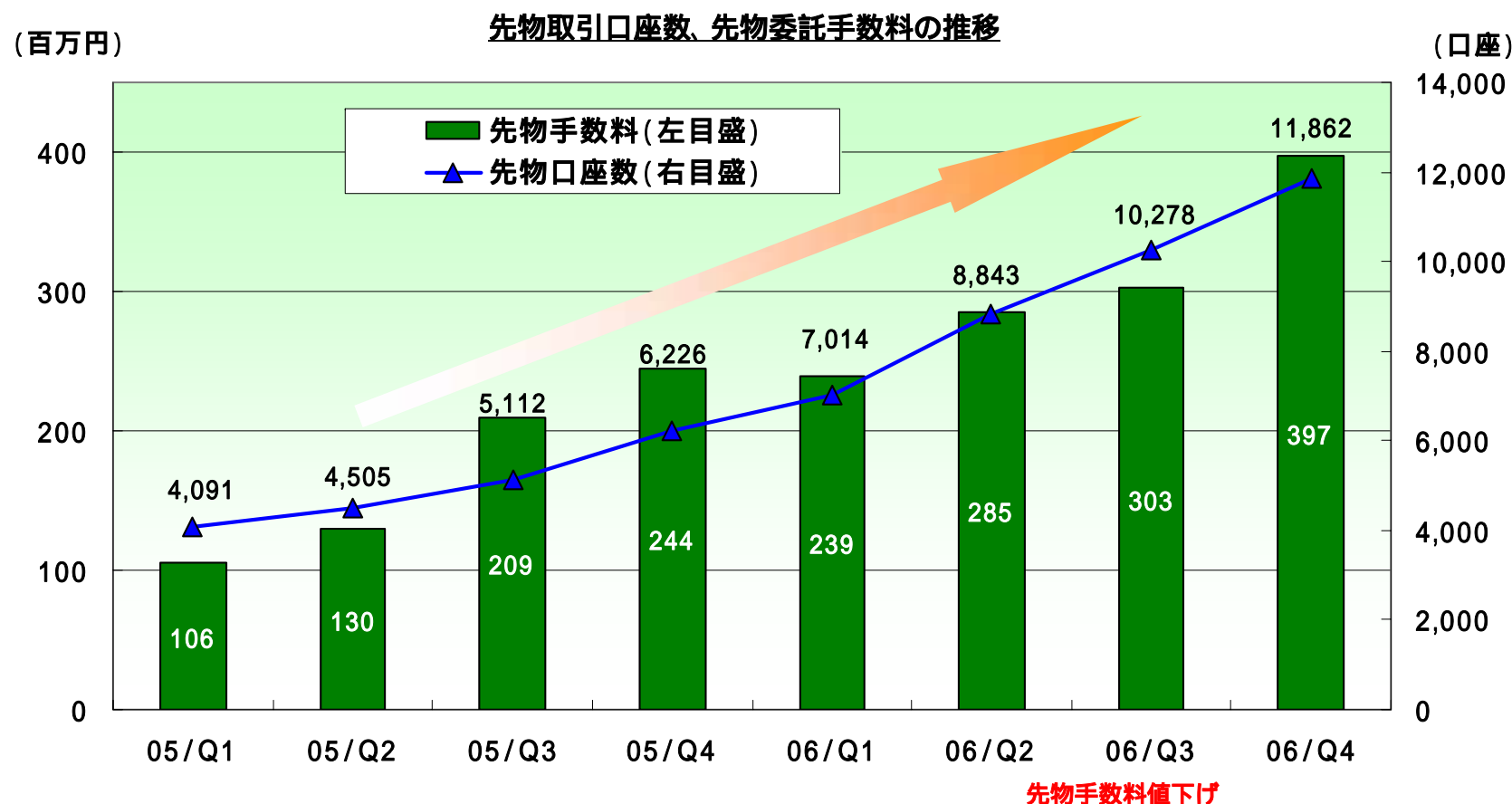
先物・オプション市場(個人) (四半期推移)

- 先物市場の個人委託金額が増加、着実に個人投資家に浸透している。
- 第4四半期(1-3月)の当社シェアも高水準で安定し横ばいで推移。
- TOPIX先物(東証)の個人委託取引はオンライン証券大手で唯一取り扱い。



先物取引口座数と先物委託手数料 (四半期推移)






- 先物取引口座数は前年度末比で91%増となり、約12,000口座まで伸張した。
- 先物取引の委託手数料も四半期で前年同期比62.6%増と着実に増加した。
- 必要証拠金に、現金の他、「株式」も利用可能であることが増加の一因。また、2006年7月に日経225先物委託手数料を往復で6%値下げしたことも影響。




三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化 ~これまでの取り組み



- 当期は三菱UFJフィナンシャル・グループとの間で様々な取り組みを実施
- 今後、MUFG子会社化により、更なる連携強化を図る予定 *1


今年度の主な取り組み

- 
三菱UFJフィナンシャル・グループ
 - 株主推進割引の銘柄に追加 ~ 現物株式買付手数料を10%割引
- 
三菱東京UFJ銀行
 - kabu.comカードと三菱東京UFJ銀行「スーパーICカード」/「ICキャッシュカード」の入金機能等の利便性強化(Edyチャージ)
 - 証券仲介サービス
 - ・新規獲得口座の12%が三菱東京UFJ銀行経由
 - ・三菱UFJニコスと合わせ、受入手数料に占める証券仲介のシェアは3%程度
- 
三菱UFJ信託銀行
 - 団塊/シニア世代顧客向け会員組織「カブコム マスターズ倶楽部™」設立
- 
三菱UFJニコス
 - 証券仲介サービス開始
 - 株主推進割引の銘柄に追加 ~ 現物株式買付手数料を10%割引
 - 提携カード「kabu.comカード」発行
 - 取引手数料の1%を電子マネー“Edy”にてキャッシュバック
- 
三菱UFJ証券
 - 株式等の引受業務に関する包括業務提携(IPO/PO取扱銘柄大幅拡大)
 - 三菱UFJ証券リサーチレポートを顧客へ無料提供

今後予定している主な取り組み


- 
三菱東京UFJ銀行
 - 三菱東京UFJ銀行を所属銀行とした銀行代理業の許可取得済(12/22) ~ カブドットコム支店開設
 - MUFG子会社化により営業面での連携を強化
- シームレスな資金移動

 カブドットコム証券 カブドットコム証券証券口座 ・証券取引口座 ・株式投資や投資信託のお取引	aペイメント 自動引落 出金指定	 三菱東京UFJ銀行 三菱東京UFJ銀行カブドットコム支店 ・生活用口座 ・クレジットでショッピング ・公共料金の口座振替など
--	------------------------	---

手数料の一部を還元(Edyギフト) → 

スーパーICカード

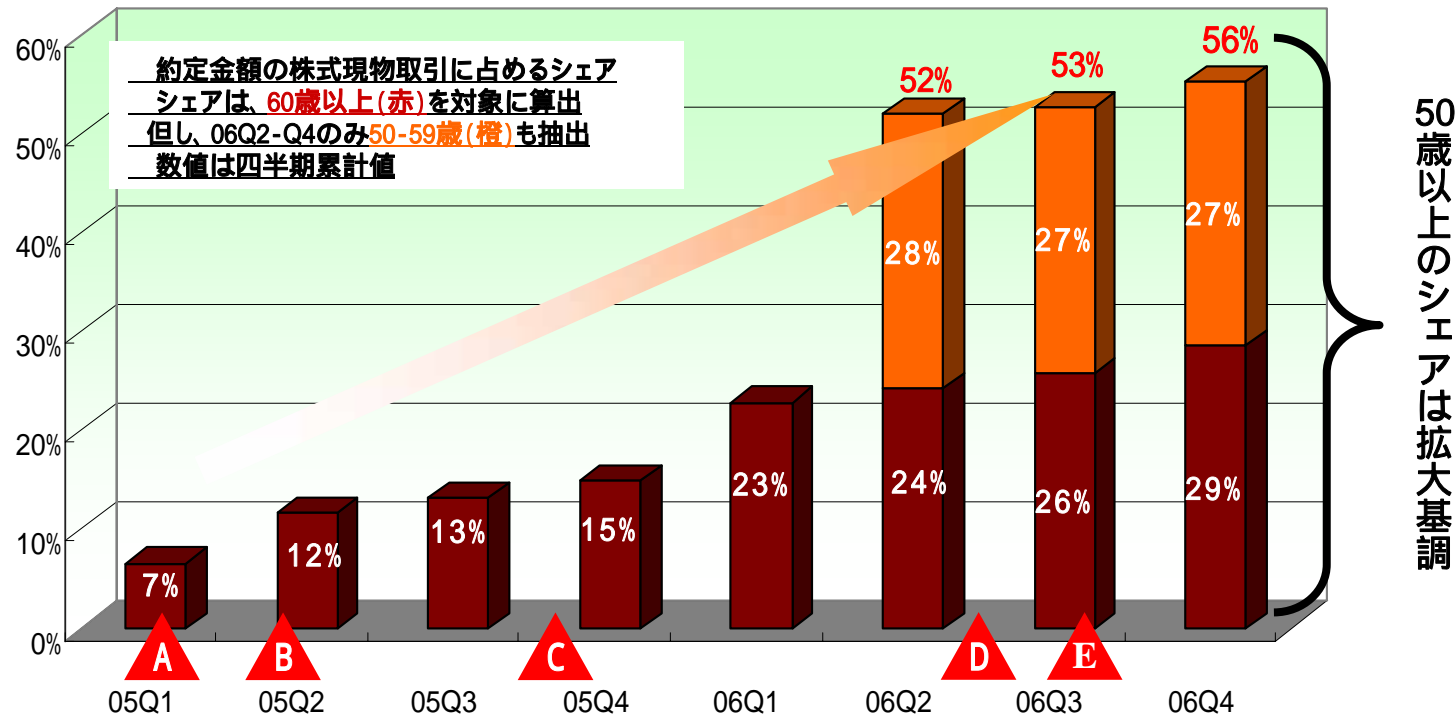
店舗・ATM ・有人店舗約650店(三菱東京UFJ銀行) ・MUFGグループで約9,000台のATM ・コンビニエンスストア内約21,000台 郵便貯金約26,000台のATMもご利用可能	三菱東京UFJダイレクト ・インターネット、携帯電話等でお取引 ・譲渡相会、譲渡、振替 ・円定額預金、外貨預金 池
---	--


三菱UFJ証券
 - 夜間取引市場「kabu.comPTS」への参加

*1: 2007年4月26日時点で三菱東京UFJ銀行は公開買付を通じて当社普通株式を94,000株取得、MUFG連結ベースでの出資比率が40.36%となります。平成19年6月に予定されている弊社定時株主総会に置いて、MUFGまたは三菱東京UFJ銀行を含むMUFG子会社の役員、業務を執行する社員もしくは使用人である者、またはこれらであった者が当社の過半数の取締役となる予定であり、その結果、当社はMUFGの連結子会社になる予定です。

シニア層のシェア推移 (四半期推移)

- シニア層へのアプローチに連動し、順調にシェアは拡大している。



- A: 2005/5 「シニア割引」(60歳以上対象)を新設 (満60歳以上の株式現物取引手数料を10%割引)
- B: 2005/7 旧UFJ銀行(現三菱東京UFJ銀行)と「インターネット証券仲介」を開始
- C: 2006/1 「シニア割引」が「日経優秀製品・サービス賞2005最優秀賞」を受賞
Meネット証券との合併によりシニア層の口座割合増加
- D: 2006/7 「シニア割引」を50歳以上に拡大 (満50歳以上満60歳未満の株式現物取引手数料を5%割引)
- E: 2006/9 三菱UFJ信託銀行と提携、団塊/シニア世代顧客向け会員組織「カブコム マスターズ倶楽部™」を設立

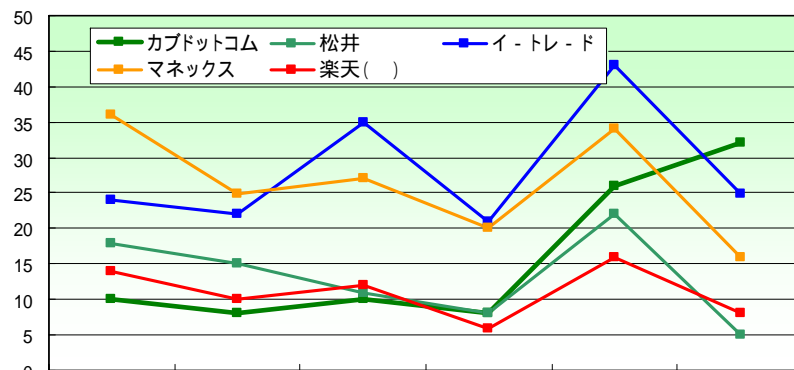
IPO/PO取扱い件数(四半期推移)

- 2006年9月に三菱UFJ証券と「株式等の引受業務に関する包括的業務提携」を締結。
- 第3四半期においては、新規公開株(IPO) / 公募・売出(PO)の合計取扱件数はオンライン専門証券大手5社中トップに、また、第4四半期においては、IPO・POそれぞれでオンライン専門証券5社中トップとなった。

[オンライン専門証券大手5社 IPO/PO取扱実績推移]

(件)

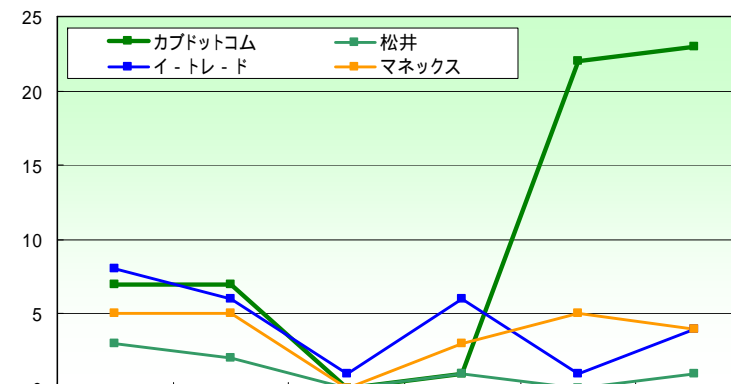
新規公開株(IPO)



IPO	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4
カブドットコム	10	8	10	8	26	32
松井	18	15	11	8	22	5
イ-トレード	24	22	35	21	43	25
マネックス	36	25	27	20	34	16
楽天()	14	10	12	6	16	8

(件)

公募・売出(PO)



PO	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4
カブドットコム	7	7	0	1	22	23
松井	3	2	0	1	0	1
イ-トレード	8	6	1	6	1	4
マネックス	5	5	0	3	5	4

各社ホームページ等公表資料により当社にて集計

楽天証券のPO(公募/売出)取扱件数は公表されておらず、公表されているIPO取扱件数のみで資料を作成

三菱UFJフィナンシャル・グループの連結子会社化により新たなステージへ

- MUFG連結子会社化により、「総合金融デパートのネット証券・リスク商品取扱プラットフォーム」として、三菱東京UFJ銀行等グループ企業との連携を更に強化。

顧客基盤

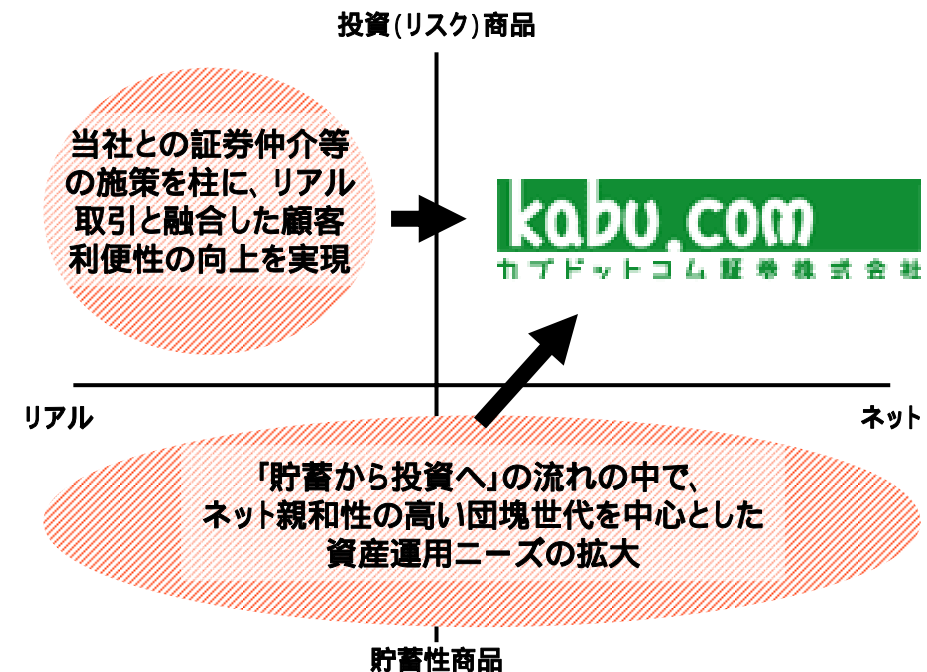
MUFG顧客基盤へのアプローチの強化

証券仲介契約をベースに
三菱東京UFJ銀行
4,000万口座に加え、
三菱UFJニコスのカード会員
2,430万人への
アプローチを本格的に開始。
更には、
三菱UFJ証券、三菱UFJ信託銀行、
親密地銀等との
連携強化を図る。

当社の独自戦略による
新規口座獲得
(56万口座に)

プレゼンス

リスク商品を取扱うネット中核部門 としての位置づけを確立



MUFG 三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG 三菱東京UFJ銀行

MUFG 三菱UFJ信託銀行

MUFG 三菱UFJ証券

MUFG 三菱UFJニコス

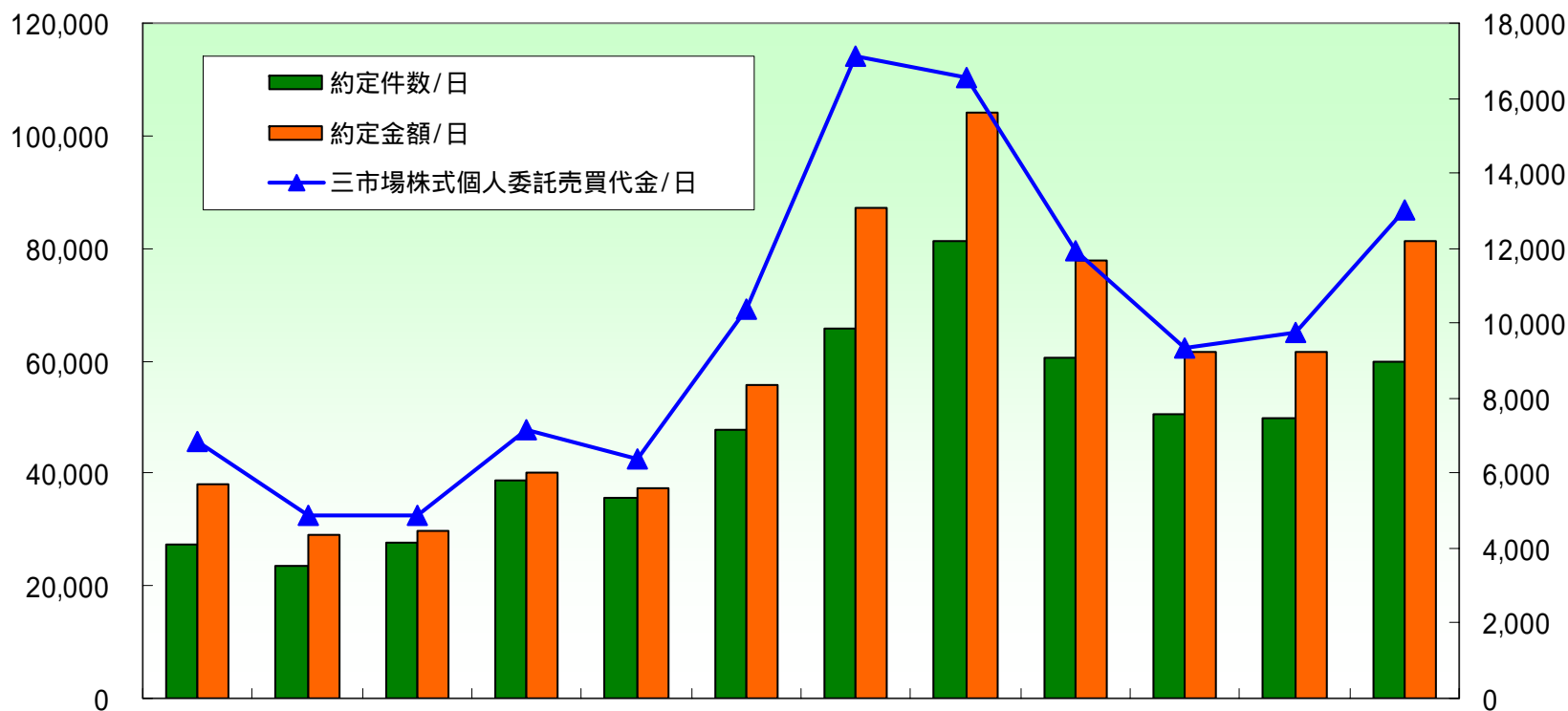
・ 営業数値概況

1日当たり株式約定件数・約定金額（四半期推移）

■ 約定件数、約定金額とも、三市場株式個人委託売買代金に連動し推移。

左軸：（約定件数 件、切捨 / 約定金額 百万円、切捨）

右軸：（三市場個人委託売買代金 億円、切捨）



	平成17年3月期				平成18年3月期				平成19年3月期			
	04/Q1	04/Q2	04/Q3	04/Q4	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4
約定件数/日	27,403	23,465	27,581	38,845	35,633	47,746	65,763	81,359	60,633	50,578	49,666	59,851
約定金額/日	38,157	29,012	29,821	40,267	37,369	55,715	87,113	103,928	77,892	61,538	61,519	81,128
三市場株式個人委託売買代金/日	6,847	4,856	4,885	7,175	6,368	10,372	17,097	16,533	11,931	9,313	9,777	13,003

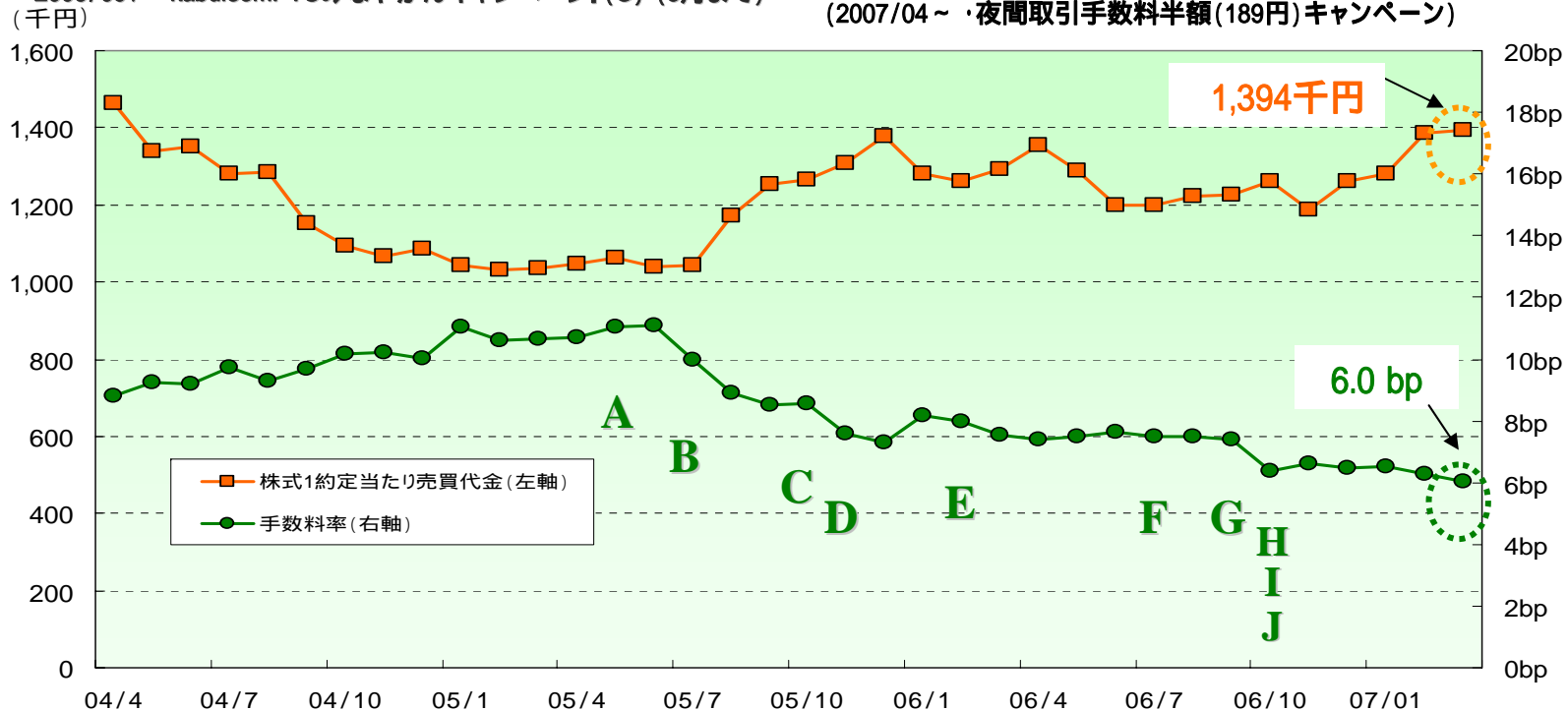
東京証券取引所公表数値より当社算出

手数料率と株式1約定当たり売買代金

- 10月の信用手数料の大幅値下げに加え、シニア層の増加に伴うシニア割引の利用増により、手数料は6.0bpに。
- 2009年予定の株券電子化に向け、今後も収益性を勘案し手数料を段階的に引下げ。

2005/05: 「シニア割引(60歳以上)、株主推進割引:当社」(A)
 2005/07: 「信用手数料の値下げ」(B)
 2005/10: 「株主優待割引」(C)
 2005/11: 「現物株式・プチ株の委託手数料値下げ」(D)
 2006/02: 「信用手数料のワンウェイ手数料改定」(E)
 2006/07: 「シニア割引を団塊の世代を含む50歳代に拡大」(F)
 2006/09: 「kabu.comPTSみなやかんキャンペーン」(G) (3月まで)

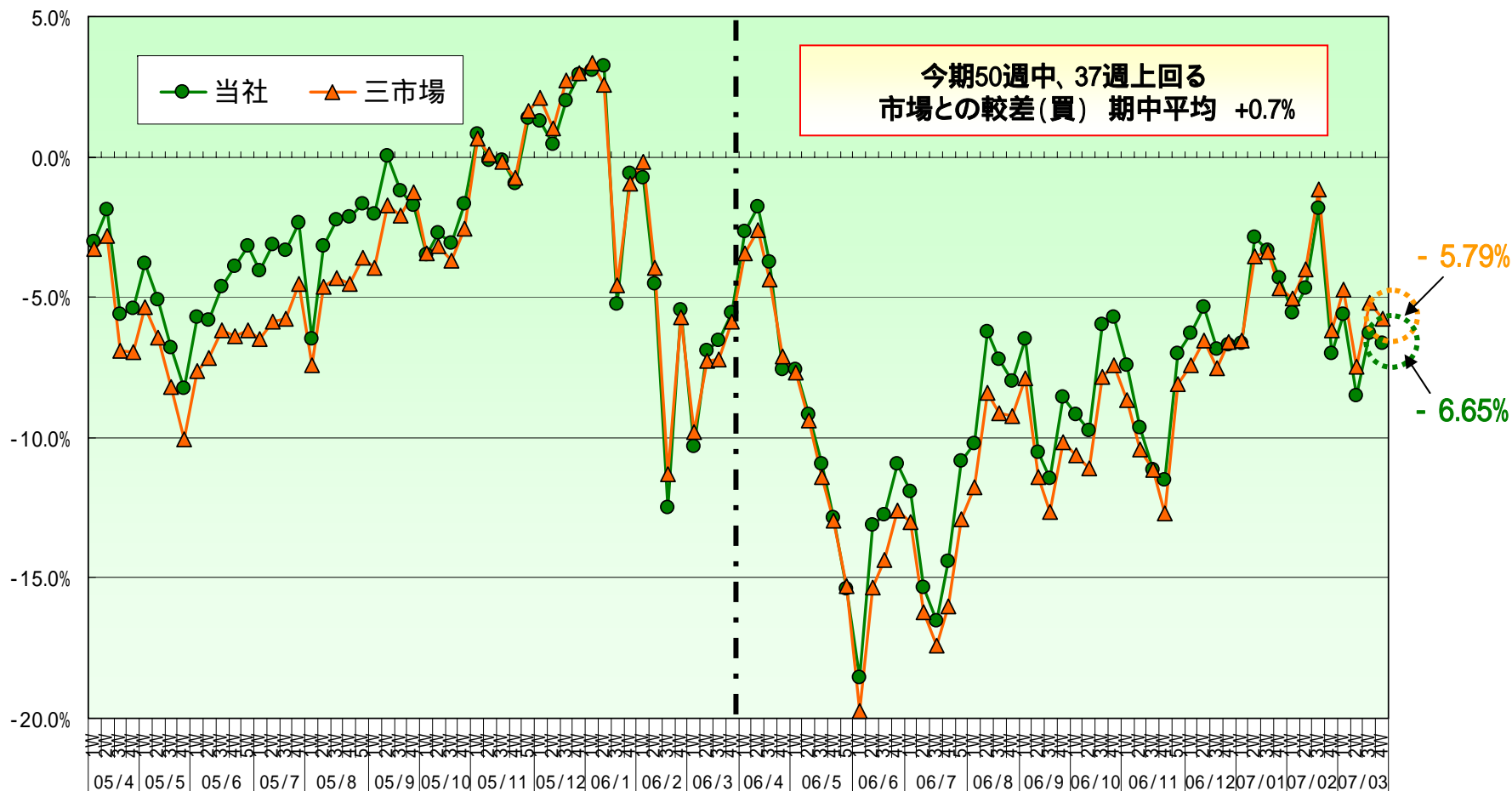
2006/10: 「信用手数料大幅下げ、ワンウェイ手数料廃止」(H)
 (約定代金50万円以下は49%の値下げ)
 2006/10: 「株主推進割引:MUFG、UFJニコスを追加」(I)
 2006/10: 「夜間取引+取引所」の連携注文で、378円キャッシュバック」(J)
 (2007/04~ 「kabu.comPTS」の手数料引き下げ)
 (2007/04~ 「プチ株®」の手数料の引き下げ)
 (2007/04~ 「夜間取引手数料半額(189円)キャンペーン」)



手数料率は、株式委託手数料 ÷ 株式約定金額 にて算出

信用評価損益率(買建のみ)

■ 当社お客様の信用取引(買建のみ)の成績は、三市場をほぼ上回る推移となった。



東京証券取引所公表数値より当社算出

三市場、当社ともに信用評価損益率は、 $[\text{評価損益(買建のみ)} \div \text{信用建玉残高(買建のみ)}]$ の数式にて算出

グラフは、三市場、当社ともに各週末の信用評価損益率を表したもの

株券差引入庫額(1)

- 第4四半期の入出庫合計額は前四半期より増加、約132億円の在庫額超過となった。
- オンライン專業証券大手4社からの在庫は減少し約6億円の出庫超過となったが、大手3社を含む他の証券会社からの振替在庫額が増加し在庫超過が約83億円、タンス株の直接在庫額は約50億円となった。

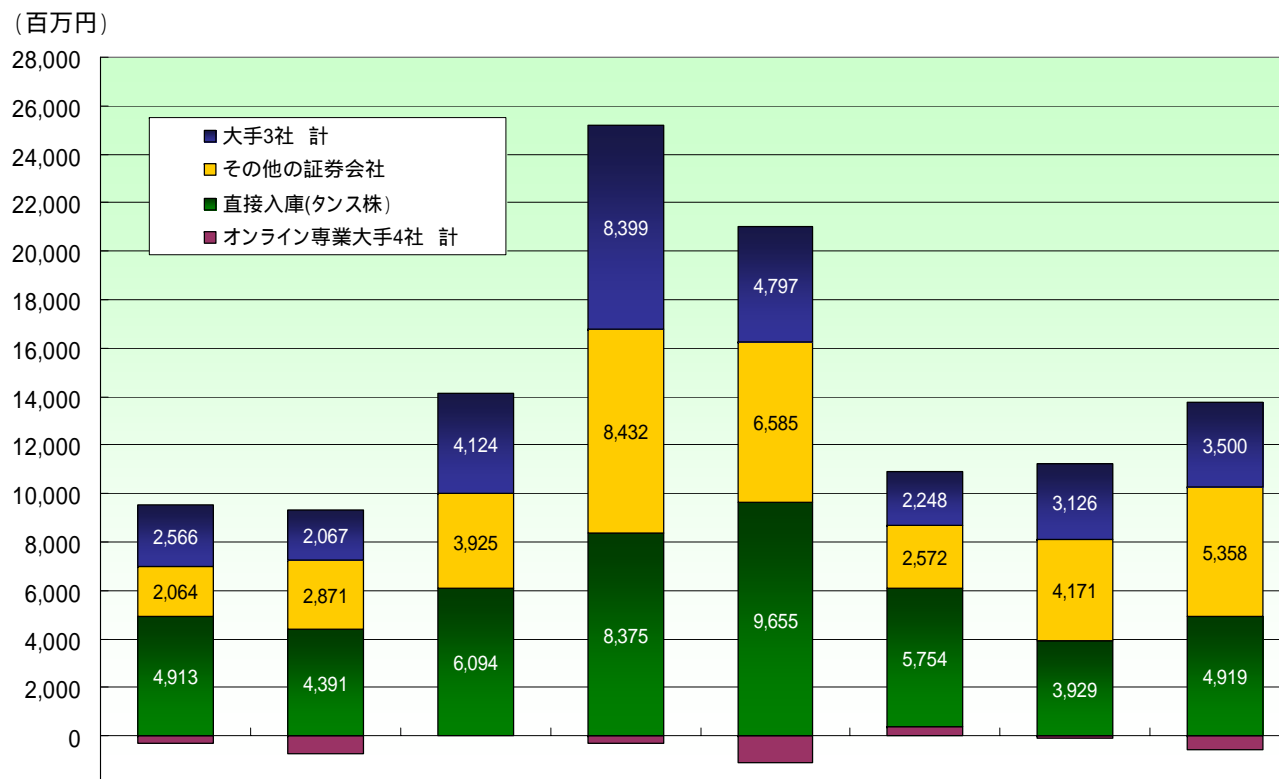
(単位:百万円)

	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4
A証券	12	250	317	249	-163	14	764	-92
B証券	-646	-751	-734	-1,048	-911	74	-520	-177
C証券	69	-287	-43	-89	-121	-166	-170	28
D証券	265	50	465	579	110	436	-159	-344
オンライン專業大手4社 計	-300	-738	6	-310	-1,084	357	-86	-585
X証券	1,668	1,385	2,767	6,133	2,537	699	1,193	1,395
Y証券	600	283	412	580	514	603	434	206
Z証券	298	398	946	1,686	1,745	947	1,499	1,899
大手3社 計	2,566	2,067	4,124	8,399	4,797	2,248	3,126	3,500
その他証券会社	2,064	2,871	3,925	8,432	6,585	2,572	4,171	5,358
振替差引入庫額 + +	4,330	4,199	8,055	16,521	10,297	5,177	7,212	8,272
直接在庫額	4,913	4,391	6,094	8,375	9,655	5,754	3,929	4,919
合計 (+ + +)	9,243	8,589	14,149	24,895	19,953	10,931	11,142	13,191

株式差引入庫額は、「他社から当社への在庫額 - 当社から他社への出庫額」にて算出(四捨五入)
 在庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算

株券差引入庫額(2)

- 株券差引入庫額は第2四半期に減少したものの、第3四半期以降は再び拡大基調に転じた。



	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4
オンライン專業大手4社 計	-300	-738	6	-310	-1,084	357	-86	-585
直接入庫(タンス株)	4,913	4,391	6,094	8,375	9,655	5,754	3,929	4,919
その他の証券会社	2,064	2,871	3,925	8,432	6,585	2,572	4,171	5,358
大手3社 計	2,566	2,067	4,124	8,399	4,797	2,248	3,126	3,500
合計	9,243	8,589	14,149	24,895	19,953	10,931	11,142	13,191

株券差引入庫額は、「他社から当社への入庫額 - 当社から他社への出庫額」にて算出(四捨五入)
 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算

・ 当期の取り組み等

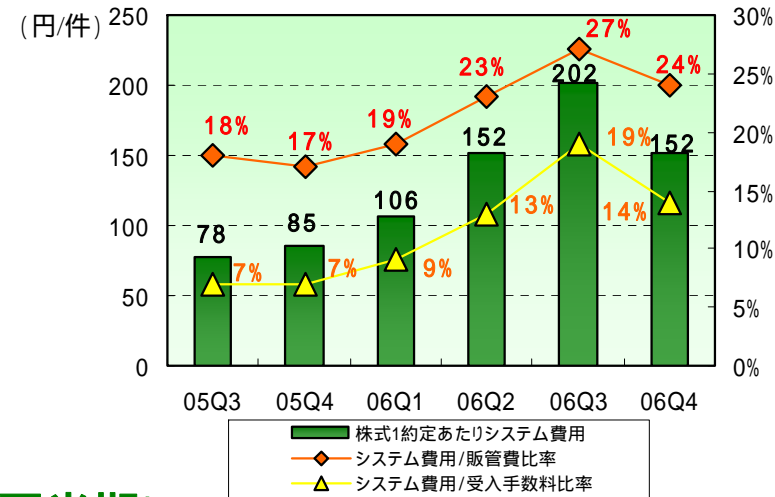
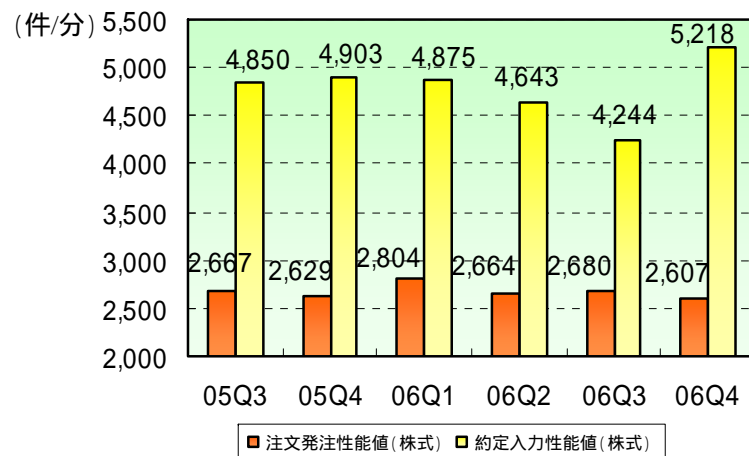
当期の主な取り組み(平成18年4月～平成19年3月)

	お客様サービス向上に向けた取り組み	取得・受賞・その他
Q1	<ul style="list-style-type: none"> ・国際投信の当社取扱い全ファンドを手数料無料(ノーロード)化(4月) ・証券会社初、事業継続計画(BCP)実現のため、自社で本格的な遠隔地・災害復旧(DR)サイトとして第2のビジネス拠点「福岡システムセンター」を開設(4月) ・新規取扱いを含め「6ファンド10本」を新たに手数料無料(ノーロード)化(5月) ・証券会社初、複数チャートの同時表示を可能にした株価分析アプリの提供開始(6月) ・新売買監視システムの導入(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Gomez2006年モバイルオンライン証券ランキング総合第1位(4月) ・日本格付研究所(JCR)より <ul style="list-style-type: none"> ：長期優先債務格付 BBB+取得(4月) ：短期優先債務格付 J-2取得(5月) ・第7回定時株主総会、2006年度カブ四季総会(東京)開催(6月)
Q2	<ul style="list-style-type: none"> ・UFJニコス(現三菱UFJニコス。以下同様)との証券仲介サービス開始(7月) ・「日経225mini先物取引」の開始および「日経225先物取引」の手数料値下げ(7月) ・「シニア割引」の対象を50歳以上へ拡大(7月) ・国内初、競売買(オークション)による私設取引システム(PTS)業務の認可取得(7月) ・三菱UFJ信託銀行と団塊/シニア世代向け会員組織「カブコムマスターズ倶楽部」を設立(9月) ・金融機関初、NTTドコモのiチャンネルTM向けに「kabu.comチャンネル」を提供(9月) ・夜間取引市場「kabu.comPTS」業務開始、株価指数「kabu.comPTS指数」を算出公表(9月) ・三菱UFJ証券の株式等引受業務の提携範囲拡大に合意(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内証券初、情報セキュリティ管理の国際規格「ISO/IEC27001:2005」認証を取得(8月) ・金融機関初、ITサービス管理の国際規格「ISO/IEC20000-1:2005」認証を取得(8月) ・2006年度カブ四季総会(大阪)開催(9月) ・第45回 電話対応コンクール東京中央地区大会(個人戦)～5年連続入賞(9月)
Q3	<ul style="list-style-type: none"> ・「株主推進割引」対象銘柄に「三菱UFJフィナンシャル・グループ」「UFJニコス」を追加(10月) ・信用取引手数料大幅値下げ(約定代金50万円以下は49%の値下げ)(10月) ・ネット証券最多、一般信用取引の売建可能銘柄を692銘柄に拡大(11月) ・夜間取引市場「kabu.comPTS」:取引時間の延長ならびに取扱銘柄数を拡大(11月) ・三菱東京UFJ銀行を所属銀行とした銀行代理業の許可取得(12月) ・夜間取引市場「kabu.comPTS」対応kabuマシーンとスーパーチャートの提供(12月) ・投資信託8ファンド16本追加、ノーロード42ファンド72本含む全153ファンド226本に(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第10回業種別企業電話対応コンテスト 金融部門」優良賞受賞～5年連続の入賞(11月) ・2006年度カブ四季総会(名古屋)開催(11月) ・自動売買(逆指値)関連の特許権取得(11月)
Q4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動売買「トレーリングストップ」注文の開始(1月) ・株券を担保に利用できる外国為替保証金取引を開始予定/金融先物取引業者の登録(1月) ・三菱東京UFJ銀行との業務・資本提携強化を発表(3月) ・「kabu.comPTS」の時間延長(18:30取引開始)、取扱銘柄拡大(2000銘柄)を実施(3月) ・自動売買「トレーリングストップ」の株価指数先物取引・オプション取引に対応(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京証券取引所「第5回(平成18年度)個人株主拡大表彰」受賞(1月) ・2006年度カブ四季総会(福岡)開催(2月) ・平成19年3月期末配当予想額:2,000円公表(3月) ・新ホームページのリリース(3月)

システム関連の開示

■ 当四半期の実績

- 内製化した自前システムを活かし、自動売買「トレーリングストップ」による注文を開始。更にその対象を先物・オプション取引に拡げ、「リスク管理追求型」サービスの拡充に努めました。
- 費用対効果については、取引量の増加等に伴い、前四半期からの数値は改善しています。



■ 主な設備増強及びシステム障害(第4四半期)

主な設備増強 (2007年1月 - 3月)

日付	増強内容
1/末	東京データセンターを増床(1.5倍規模)

システム障害 (2007年1月 - 3月)

日付	内容	原因及び対処
3/29	夜間バッチ処理が遅延したことで、以下の問題が発生 1.顧客勘定と保証金、証拠金勘定への振替反映遅延 2.日計り代金の拘束が解除遅延、 3.入出金遅延、 4.取引の約定反映遅延、 5.画面遷移でのエラー発生、画面応答劣化	特殊オペレーション実施時の手順ミス 特殊オペレーションの作業権限を厳格化し、責任者が作業に立ち会い、その記録を確保し、夜間バッチの監視担当者が履歴を確認できるようにする。加えて運用を2点改善する。

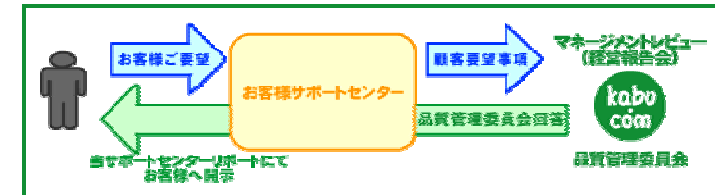
システムレポートは月次で定期開示しております (<http://kabu.com/feature/system/report.asp>)

お客様サポートセンター関連の開示

■ 当四半期の実績

- 当社のお客様サポートセンター業務は、ISO9001・ISO20000等の国際規格を基盤として運営されており、オペレーターがお客様よりいただきました「ご意見、ご要望」は、「お客様要望事項」として毎月当社品質管理委員会のマネージメントレビューにて経営者に報告されております。
- 特に前四半期以降、品質管理面・オペレータのコンプライアンス面の教育について一層の品質強化を図っております。
- その結果、当社オペレータは5年連続で以下の電話対応コンテストにおいて好成績を残しております。
 - ・ 第10回 業種別企業電話対応コンテスト 金融部門「優良賞」受賞
~5年連続入賞・優秀賞は3度目~
 - ・ 第45回 電話対応コンクール 東京都中央地区大会(個人戦) 奨励賞受賞
~5年連続の入賞~
- また、その一環として、当四半期においては、お客様サポートセンター業務を本社に集約し一層の内製化を図りました。
- その結果、入電数が確定申告時期等の要因で問い合わせが急増(前四半期比+30%)しましたが、放棄呼率*1は10%未満の低水準で推移、電話が繋がりがやすい状態を維持させることができました。 *1: サポートセンターにおいて混雑等でお客様からの問合せが受けられない状況

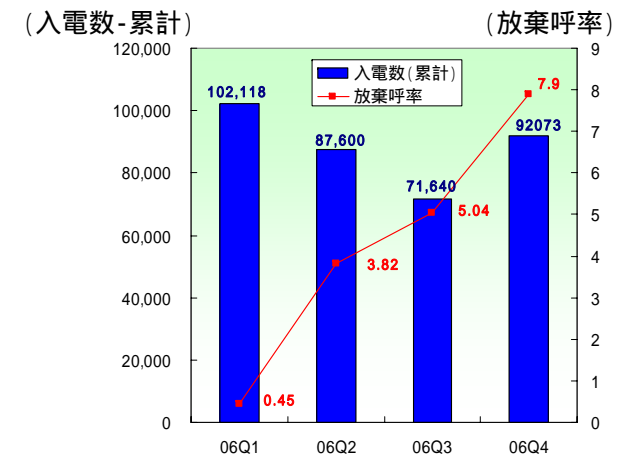
お客様サポートセンターの品質管理



電話対応コンテスト 5年連続の表彰



お客様サポートセンター利用状況



サポートセンターレポートは月次で定期開示しております (<http://kabu.com/support/report.asp>)

売買審査状況

- 「金融商品取引法」への改正に伴い、不公正取引の監視を強化。
- 夜間取引市場「kabu.comPTS」の市場開設に伴い審査件数が増加。
- 証券市場の公正性、信頼性の確保のため、不公正取引の未然防止に努めます。

< 月次推移 >

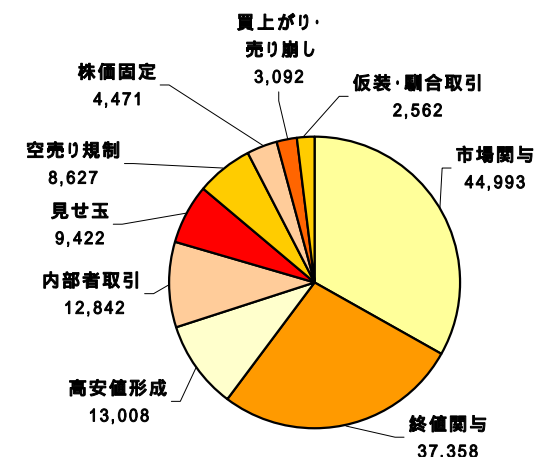
平成19年3月期の主な売買審査状況

売買審査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
						取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS
空売り規制	484(41)	485(54)	688(57)	734(61)	861(87)	762(67)	- (-)	903(78)	- (-)	824(68)	- (-)	693(75)	- (-)	749(67)	- (-)	709(75)	- (-)	735(67)	- (-)
買上がり・売り崩し	191(27)	265(56)	294(127)	263(56)	274(51)	206(24)	12(0)	195(9)	49(0)	251(11)	48(0)	207(7)	46(0)	207(13)	46(0)	183(11)	67(0)	226(4)	62(0)
終値関与	556(20)	614(25)	1,447(102)	1,595(16)	1,781(16)	1472(8)	1,257(0)	1,547(8)	3,409(0)	1,432(12)	3,103(0)	1,742(9)	3,211(0)	1,512(9)	2,677(0)	1,535(11)	3,475(0)	1,799(9)	3,194(0)
仮装・聯合取引	38(3)	40(11)	233(16)	251(13)	276(4)	176(2)	6(2)	279(5)	6(1)	261(3)	25(0)	310(2)	34(0)	180(2)	7(0)	234(1)	14(0)	181(0)	11(0)
見せ玉	592(11)	668(24)	545(62)	535(20)	734(40)	461(5)	119(0)	359(2)	255(0)	542(8)	348(0)	704(8)	257(0)	698(20)	397(0)	679(7)	466(0)	610(10)	453(0)
高安値形成	189(0)	192(0)	688(9)	700(4)	690(3)	568(3)	270(0)	615(7)	580(0)	722(3)	870(0)	669(2)	864(0)	630(3)	936(0)	623(2)	1,292(0)	697(0)	1,213(0)
株値固定	496(0)	453(0)	217(11)	210(2)	289(3)	257(4)	47(0)	257(0)	118(0)	337(0)	83(0)	325(4)	74(0)	334(1)	90(0)	360(1)	109(0)	328(1)	87(0)
市場関与	1,343(23)	1,440(24)	1,474(31)	1,432(33)	1,541(39)	1,486(15)	1,110(0)	1,985(15)	3,166(0)	1,582(16)	3,805(0)	1,372(14)	4,023(0)	1,443(11)	4,212(0)	1,622(16)	5,413(0)	1,549(14)	4,995(0)
内部者取引	1,267(0)	945(1)	818(0)	969(0)	1,179(2)	994(0)	3(0)	1,615(0)	8(0)	898(0)	7(0)	1,187(0)	5(0)	1,108(1)	3(0)	891(3)	14(0)	922(0)	9(0)
月間計	5,156(125)	5,102(195)	6,404(415)	6,689(205)	7,625(245)	6,382(128)	2,824(2)	7,755(124)	7,591(1)	6,849(121)	8,289(0)	7,209(121)	8,514(0)	6,861(127)	8,368(0)	6,836(127)	10,850(0)	7,047(105)	10,024(0)
審査件数/注文件数	0.19%	0.25%	0.33%	0.40%	0.35%	0.56%		0.73%		0.93%		0.77%		0.72%		0.74%		0.82%	

上記表は、当社売買審査基準に基づいて取引審査を実施した件数 ()内は、そのうち案内や注意を実施した件数

< 平成19年3月期 四半期推移 > 主な売買審査件数内訳

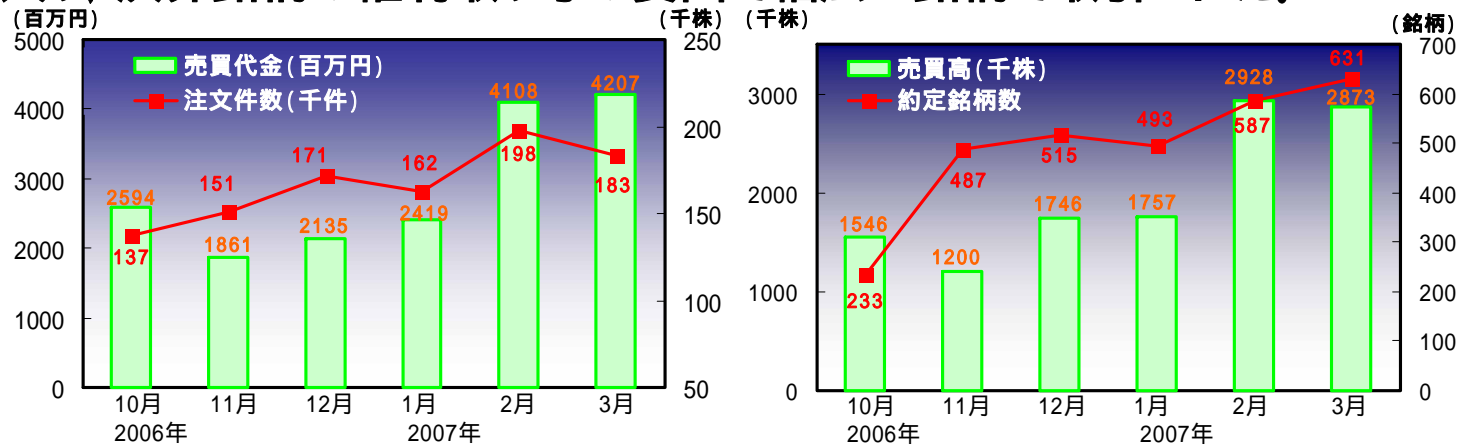
売買審査項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
市場関与	4,257	5,569	15,933	19,234	44,993
終値関与	2,617	6,105	14,444	14,192	37,358
高安値形成	1,069	2,228	4,320	5,391	13,008
内部者取引	3,030	3,145	3,720	2,947	12,842
見せ玉	1,805	1,849	2,465	3,303	9,422
空売り規制	1,657	2,357	2,420	2,193	8,627
株値固定	1,166	803	1,194	1,308	4,471
買上がり・売り崩し	750	755	796	791	3,092
仮装・聯合取引	311	709	915	627	2,562
合計	16,662	23,520	46,207	49,986	136,375
審査件数/注文件数	0.25%	0.42%	0.80%	0.76%	0.56%



売買審査状況は月次で定期開示しております (<http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/>)

kabu.comPTS(夜間取引)関連の開示

- 1～2月にかけては、出来高・注文件数・約定銘柄数とも連続して最高記録を更新。引け後の企業開示情報や海外主要取引所の市況等を参考にした取引が浸透。
- 3月に入り、決算銘柄の権利取り等の要因で幅広い銘柄で取引された。

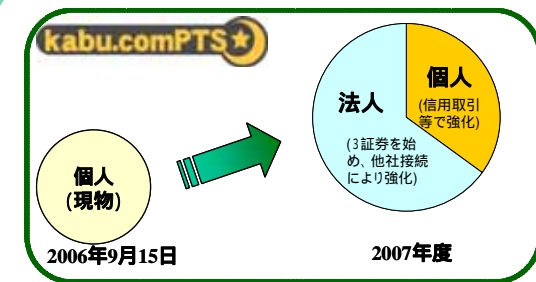


PTS夜間市場に関する主な取り組み(第4四半期)

- ・「夜間取引378円(みなやかん)キャンペーン」及び、「連携注文もみなやかん! 378円キャッシュバックキャンペーン」(2007年3月末へ継続)
- ・ホームページPTS市況情報画面にて「値上り・値下り率」を追加しランキングのリニューアルを実施。
- ・ホームページのIR情報に月次開示「PTSレポート」の掲載を開始。
- ・「kabuマシーン™」夜間取引(PTS)対応版の操作方法(ニュース・優位気配)動画をホームページへ掲載。
- ・取扱銘柄について1000銘柄追加して2,000銘柄へ拡大。(日経225採用銘柄の殆どを網羅)
- ・取引開始時間を19:30から18:30へ。(これにより夜間取引市場の取引時間は5時間29分に)
- ・2007/04～「kabu.comPTS」の正規手数料を引き下げ、約定代金1,000万円までは、378円均一に。

PTS夜間市場に関する今後の取り組み

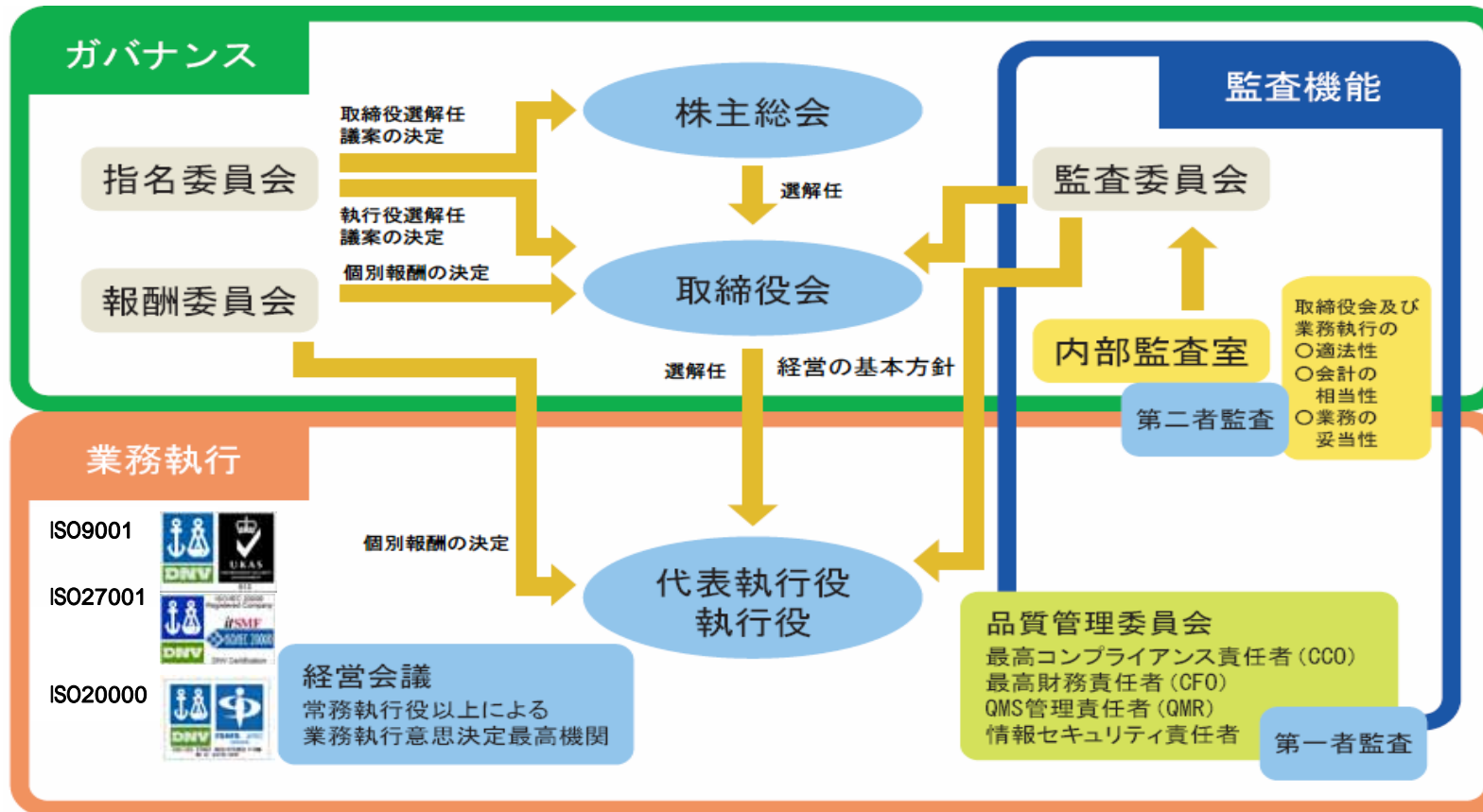
- 信用取引の取扱い開始
- 三証券会社(三菱UFJ証券、ゴールドマン・サックス証券、BNPパリバ証券)を始めとした、同業他社接続の開始(自社勘定取引～顧客勘定取引)～3社以外も随時実施～



kabu.comPTSレポートは月次で定期開示しております (<http://kabu.com/pts/default.asp>)

コーポレート・ガバナンス

- 「委員会設置会社」と、「品質(ISO9001)」「情報セキュリティ(ISO27001)」「ITサービス管理(ISO20000)」の国際規格による「PDCAサイクル」を基盤としたコーポレート・ガバナンスを確立しています。



平成15年6月 国内オンライン専門証券では初めて、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001(2000年版)の認証を取得
 平成18年8月 国内証券会社では初めて、情報セキュリティ管理の国際規格であるISO27001の認証取得
 平成18年8月 国内金融機関では初めて、ITサービス管理の国際規格であるISO20000の認証取得

知的財産関連の活動状況

当社では、新技術およびそのサービス名称を「特許権」「商標権」として権利化することにより企業の保有する知的資産の価値として蓄積し、企業価値の向上に結びつけるため、知的財産戦略に積極的に取り組んでおります。

下期に、逆指値注文をはじめとする自動売買を実現するための発注装置に関する特許権(売買注文自動発注装置及び売買注文の自動発注方法〔特許第3875206号〕)等を新規に2件取得いたしました。これにより当社の登録特許の件数は合計で、オンライン專業証券最多の5件となりました。(共同特許含む)

登録特許の内容

三菱東京UFJ銀行との共同特許

特許登録番号	特許権の概要
特許第3719711号 ()	電話をかけ直すことなく、コールセンター間の通話を可能にする中継方法
特許第3734168号	【自動売買】±指値(プラマイさしね®)の処理システム
特許第3754009号	【自動売買】W指値®の利益確定とロスカットの幅を自動設定するUターン注文の処理システム
特許第3875206号	【自動売買】当社の逆指値注文をはじめとする自動売買を実現するための発注装置
特許第3916242号 ()	オンラインによる証券口座開設ならびに、開設後の自動ログインによる証券取引

- 取得済特許権以外にも、kabu.comPTS(夜間取引システム)の関連技術など当社独自のサービスに関する特許を多数出願中。
- 今後は、当社取得特許の他社の抵触状況等の調査を経た上で、特許権を当社の企業価値の向上のために利用していく予定です。

・ 当社の経営目標

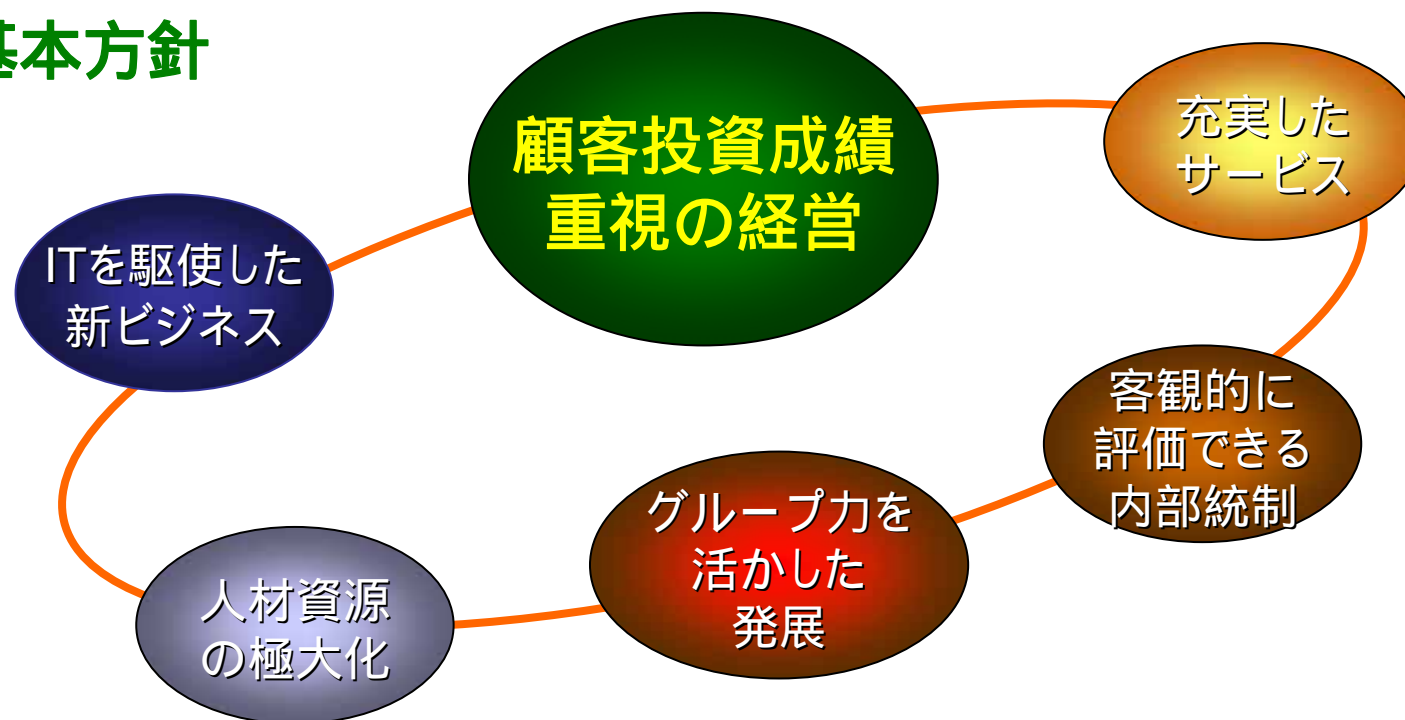
当社の経営理念・経営方針

経営理念

顧客投資成績重視の経営

- 個人投資家へ「**リスク管理追求型**」というコンセプトのもとに、利便性と安定性を徹底的に追及した独自サービスを提供するとともに、啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供します。

経営基本方針



当社の経営目標

ROE20%台の維持 >>> 当期のROEは 17.2%

- 当社は、企業価値最大化のためには自己資本に対する利益率の向上がその基盤になると考え、当期純利益によるROE(自己資本利益率)を重視しております。
- 目標とするROE20%台を中期的に維持することをめざしてまいります。
- ROEの目標達成のためには効率的な収益構造が必要であり、コストカバー率()を常に監視してまいります。

コストカバー率

委託手数料 ÷ 販管費率:

委託手数料で販管費を何倍カバーできるかを表したもの

委託手数料 ÷ システム関連費率:

委託手数料でシステム関連費を何倍カバーできるかを表したもの

*システム関連費 = 不動産関係費+事務費+減価償却費

利益配分の予定

期末配当予想額 1株あたり**2,000円** (配当性向**31.9%**相当)

- 当社は、財務体質の強化、将来の事業拡大のための内部留保等のバランスを考慮にいれながら利益配分を行うことで株主利益の最大化を図ることをめざしてまいります。今後も株主利益の最大化を図りつつ、**30%程度の配当性向**を維持することを経営目標としてまいります。

当社は会社法上の委員会設置会社となりますので、期末配当額の正式決定は、平成19年5月に開催予定の当社取締役会決議によります。

積極的な開示

決算・財務情報

開示事項/説明	
決算短信・決算説明資料	■更新:四半期ごと(4、7、10、1月下旬) 四半期ごとの決算内容等を記載した短信とその補足資料
有価証券・半期報告書	■更新:半期ごと(6、12月) 証券取引法に基づき会社概要、事業概況、決算状況などを記載した報告書
事業報告書	■更新:年1回(6月) 毎期ごとに株主様にお送りする業績概況等を記載した小冊子
業務・財産状況説明書	■更新:年1回(7月初旬) 証券取引法に基づき毎期証券会社が作成しなければならない説明書
電子公告	■更新:随時 電子化した法定開示公告を掲載
自己資本規制比率の状況	■更新:四半期ごと(4、7、10、1月下旬) 証券取引法に基づき計算する財務の安定性を表す比率
財務ハイライト	■更新:半期ごと(4、10月) 主要な指標をグラフなどで見やすく表示 (ダイジェスト:6月、9月)
格付情報	■更新:随時 各格付機関より取得した格付情報をご案内

業務情報

開示事項/説明	
委託手数料の推移	■更新:翌月初旬 当社の業績に最も影響を与える売上科目の速報値
注文・約定情報等の推移(口座数・預り資産額)	■更新:翌月初旬 当社の業績に大きな影響を与える業務関連係数
顧客投資成績の推移	■更新:翌月初旬 お客様投資成績である信用評価損益率の推移
顧客分別金の信託状況	■更新:毎週水曜日 お客様からの預り金等の分別信託状況
システムレポート	■更新:翌月初旬 当社で運用するコンピューターシステムの負荷状況、増強計画等
サポートセンターレポート	■更新:翌月中旬 サポートセンターの着信状況やお客様のご要望について回答
kabu.comPTSレポート	■更新:翌月初旬 夜間取引市場(kabu.comPTS)の運営状況、売買状況等
売買審査状況	■更新:翌月初旬 不公正取引を未然に防止するための売買審査の件数等
SLA精査状況	■更新:翌月初旬 SLA(サービス品質保証制度)の日々精査件数
知的財産報告書	■更新:年1回(6月) 経済産業省の指針に基づき作成した特許等知的財産権に関する報告書
品質管理システム報告書	■更新:年2回(5月、11月) 品質管理システムの半期毎の活動報告

手数料
商品情報
各種サービス
投資情報
リスク管理
はじめての方へ
夜間取引PTS
IR情報

ホーム > IR情報

- IR情報
 - 会社案内
 - 方針/ポリシー
 - 決算・財務情報
 - 業務情報
 - 株式情報
 - プレスリリース
 - 採用案内
- 手数料
- 商品情報
- 各種サービス
- 投資情報
- リスク管理
- はじめての方へ
- 夜間取引PTS
- 三菱UFJフィナンシャル・グループ
- 三菱東京UFJ銀行
- 三菱UFJ証券
- 三菱UFJ信託銀行
- 三菱UFJ信保
- 三菱UFJニコス
- カブドットコム証券は、浦和レッドダイヤモンズのトップスポンサーです。

IR情報

会社案内、ポリシー/方針、株式情報等

決算、財務情報、業務情報等

プレスリリース

IR最新情報、IRスケジュール等

IR最新情報

- 4月10日(火) 平成19年3月 SLA(サービス品質保証制度)精査状況
- 4月10日(火) 平成19年3月 売買審査状況
- 4月9日(月) 平成19年3月 kabu.comPTSレポート
- 4月3日(火) 平成19年3月 委託手数料及び業務計数の開示(速報値)

IRスケジュール

- 4月26日(木) 平成19年3月期決算発表日(予定)
- 5月2日(水) 平成19年4月 委託手数料及び業務計数の開示(速報値)(予定)
- 5月2日(水) アナリスト向け決算説明会(予定)
- IRスケジュール

IR活動状況

東京証券取引所「第5回(平成18年度)個人株主拡大表彰」を受賞

平成19年3月期 第4四半期(1-3月)

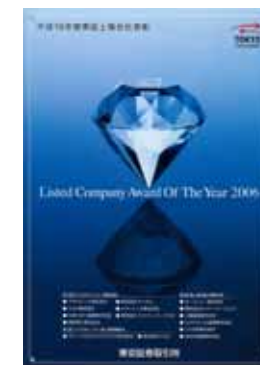
2007年1月18日	・ 東京証券取引所の「上場会社表彰制度」に基づき、「第5回(平成18年度)個人株主拡大表彰」を受賞
2007年1月22日	・ 平成18年3月期第3四半期決算を発表
2007年2月6日	・ アナリスト向け決算説明会を開催
2007年2月13日	・ kabu.comPTSレポートの月次データの開始
2007年3月5日	・ 平成19年3月期の期末配当(予想額)を公表
2007年3月21日	・ 東京証券取引所によるIRイベント「東証上場会社ディスクロージャーフェア(個人投資家向け)」に当社社長による会社説明会セミナー(参加者:101名)、ならびにブース(来場社:400名)を出展



平成20年3月期:IR活動(予定)

2007年4月26日	・ 平成19年3月期決算 発表(本日)
2007年5月2日	・ アナリスト向け決算説明会を開催(予定)
2007年6月上旬	・ 「平成18年3月期 期末配当の配当関係書類」ならびに、「第8回定時株主総会招集通知」、「第8期事業報告書等」ご送付予定
2007年6月下旬	・ 第7回定時株主総会 / カブ四季総会(東京)開催(予定)
2007年8月5日	・ カブ四季総会(大阪)開催(予定)
2007年12月2日	・ カブ四季総会(名古屋)開催(予定)
2008年3月22日	・ カブ四季総会(福岡)開催(予定)

当社は株主様や投資家の皆様へのアカウントビリティを経営上非常に重要な事項と認識し、経営及び業務に関する幅広い情報についてタイムリーな開示を実施しております



kabu.comは積極的な開示を続けております

IR情報

<http://kabu.com/company/>

決算・財務情報

http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp

業務情報（委託手数料の推移）

<http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp>

業務情報（注文・約定情報等の推移）

<http://kabu.com/company/disclosure/order.asp>

システムレポート

<http://kabu.com/feature/system/report.asp>

サポートセンターレポート

<http://kabu.com/support/report.asp>

kabu.comPTS 夜間取引情報

<http://kabu.com/pts/default.asp>

SLA（サービス品質保証制度）精査状況

<http://kabu.com/company/disclosure/sla.asp>

売買審査状況

<http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/>

コーポレートガバナンス

<http://kabu.com/company/governance.asp>

知的財産報告書

http://kabu.com/company/disclosure/ip_report.asp

品質管理システム報告書

http://kabu.com/company/qms_report.asp

カブドットコム証券

東証1部 [8703]

わたしたちは**MUFG**です。